

# ライフスタイルに関する世論調査報告書 2015

2015年8月調査

2015年11月

国立研究開発法人 国立環境研究所



## 前 書 き

本報告書は、国立研究開発法人 国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画研究室が、環境省研究総合推進費（課題番号[1-1406]「一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究」（2014～2016年度）をうけて実施した、「ライフスタイルに関する世論調査 2015」の結果をまとめたものです。実査は、2015年8月に、一般社団法人新情報センターに委託して実施しました。

本プロジェクトは、2011年3月11日の東日本大震災によって大きく変化したと考えられる日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択などを総合的に把握するために2013、2014年に続き、実施されました。調査のご回答にご協力いただいた皆様には、お忙しいところお時間をいただきました。ありがとうございました。皆様のご回答の結果がこのようにまとまりましたので、ご覧いただければと思います。

2015年11月

国立研究開発法人国立環境研究所  
社会環境システム研究センター

環境計画室 室長

課題代表者

青柳みどり

## 目 次

1. はじめに .....	1
2. 調査のあらまし .....	5
3. 調査結果 .....	11
4. 回答された方々の属性.....	31
5. 調査票 .....	43

# 1. はじめに



## 1. はじめに

本報告書は、国立研究開発法人 国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画研究室が、環境省研究総合推進費（課題番号[1-1406]「一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究」（2014～2016年度）をうけて実施した、「ライフスタイルに関する世論調査 2015」の結果をまとめたものです。実査は、2015年8月に、一般社団法人新情報センターに委託して実施しました。

本プロジェクトは、2011年3月11日の東日本大震災によって大きく変化したと考えられる日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択などを総合的に把握するために2013年に続き、実施されました。

調査は、日本に住む一般の人々の、東日本大震災後の生活や考え方、意見について、できるだけ定量的に把握することを目的として、実施されました。そのために、統計的な手法を用い、全国の自治体の協力を得て、調査対象の方々を無作為に3,000名選び、その3,000名の方々に、調査協力の依頼をし、専門の調査員がその方々のところに伺ってご意見を伺うという方式で行いました。普段、意見を表明する機会のない方々の意見をあえて伺うということで、戸惑った方々も多くおられたかと思います。この場を借りてお詫び申し上げますとともに、ご回答をいただいた1,500名を超える方々に、この調査結果を公表してお礼としたいと思います。

本調査の結果を、ご活用いただければ幸いです。





## 2. 調査のあらまし



## 2. 調査のあらまし

この調査は、環境省総合研究推進費をうけて国立研究開発法人国立環境研究所が企画・調査・分析を行ったものである。実査にあたっては、一般社団法人新情報センターに委託して実施した。

### (1) 調査目的

気候変動問題とエネルギー選択について、日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択志向などを総合的に把握するため把握し、今後の環境政策の資料とすることを目的に実施した。

### (2) 調査名称

「ライフスタイルに関する世論調査 2015」

### (3) 調査項目

- 1) 環境問題全般について
- 2) 最近の暮らしについて
- 3) 環境と経済成長について
- 4) 日頃接している情報について
- 5) エネルギー問題について
- 6) 地球環境問題について
- 7) 一般的な社会の状態、考え方について

### (4) 調査設計

- 1) 母集団 全国 20 歳以上の男女個人
- 2) 標本数 3,000 人 (1 地点 20 人・150 地点)
- 3) 抽出法 層化 2 段無作為抽出法

#### 【層化】

- 1) 日本全国を、都道府県を単位として次の 12 地域に分類した。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、京浜ブロック以外の東京都・神奈川県
京浜	東京都区、横浜市、川崎市
甲信越	新潟県、山梨県、長野県
北陸	富山県、石川県、福井県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、阪神ブロック以外の大阪府・兵庫県、奈良県、和歌山県
阪神	大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、守口市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

2) 各地域内において、人口規模に応じて次のように分類した。

- ・大都市(政令指定都市)
- ・人口10万以上の市
- ・人口10万未満の市
- ・町村

※ここでいう市とは、平成27年4月1日現在市制施行の地域を指す。

**【標本数の配分】**

各地域・人口規模の層における20歳以上人口(平成27年1月1日現在の住民基本台帳登録者数)より、150地点を比例配分し、1地点あたり20標本を設定した。

**【抽出】**

1) 第1次抽出単位となる調査地点として、平成22年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

2) 調査地点(調査区)の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\text{抽出間隔} = \frac{\text{層における平成22年国勢調査時の20歳以上人口}}{\text{層で算出された調査地点数}}$$

を算出し、等間隔抽出法によって該当人数番目の者が含まれる調査区を抽出した。  
 また、層内での調査地点数が1地点の場合には、乱数表により無作為に抽出した。  
 3)抽出に際しての各層内における市区町村の配列順序は、平成22年国勢調査時の市区町村コードに従った。  
 4)調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内(町・丁目・番地等を指定)で標本となる対象者が抽出できるように、抽出調査地点ごとに調査区抽出時に

$$\text{抽出間隔} = \frac{\text{調査地点における平成22年国勢調査時の20歳以上人口}}{\text{調査地点抽出標本数}}$$

を算出し、住民基本台帳より等間隔抽出法によって抽出した。

#### (5) 調査時期

平成27年8月13日～9月6日

#### (6) 調査方法

調査員による面接聴取

#### (7) 調査実施委託機関

一般社団法人 新情報センター

#### (8) 回収結果

- 1)有効回収数(率) 1,481 人(49.4%)  
 2)調査不能数(率) 1,519 人(50.6%)

—不能内訳—

転居	108	長期不在	74	一時不在	489
住所不明	41	拒否	771	被災	-
その他※	36				

※(病気など)

## **(9) 調査主体**

国立研究開発法人 国立環境研究所（環境省総合研究推進費 1-1406「一般市民の科学技術リテラシーと環境政策に関する合意形成のあり方に関する調査研究」による）

## **(10) 報告書の見方**

本報告書を読む際の留意点を以下に示す。

- ① 比率は全て百分率（パーセンテージ）で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して計算した。このため、百分率（パーセンテージ）の合計が100%にならないことがある。
- ② 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として計算した。
- ③ 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- ④ 図表、本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
- ⑤ 該当がない場合は、図表中で、「0.0」と表記するか、又は省略している。

### 3. 調查結果

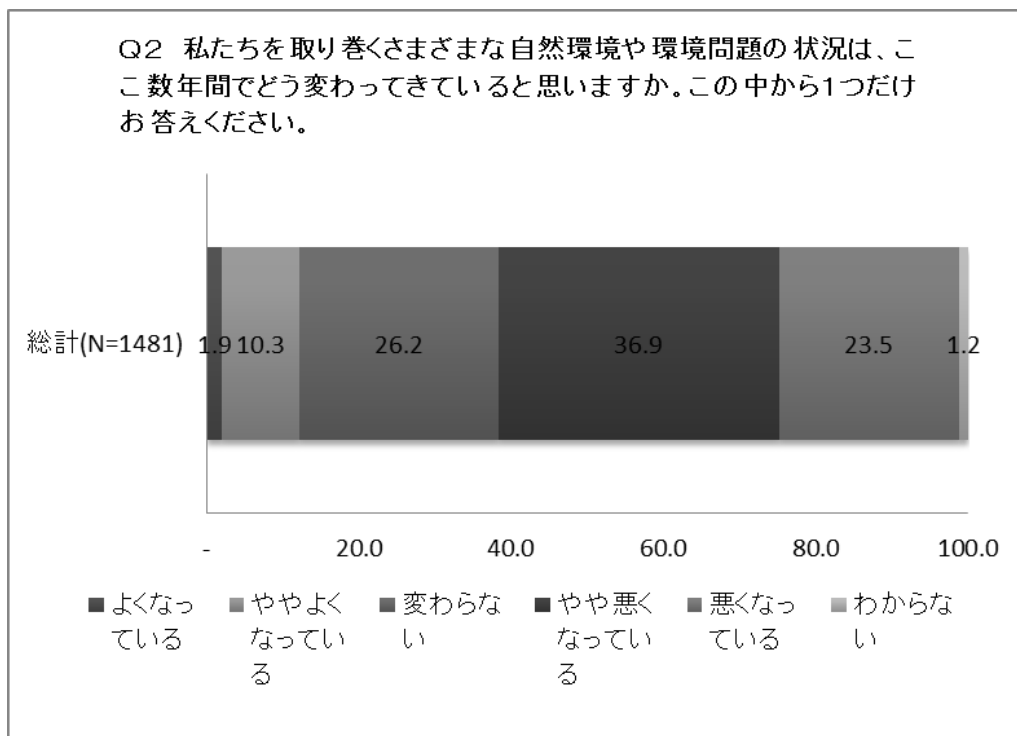




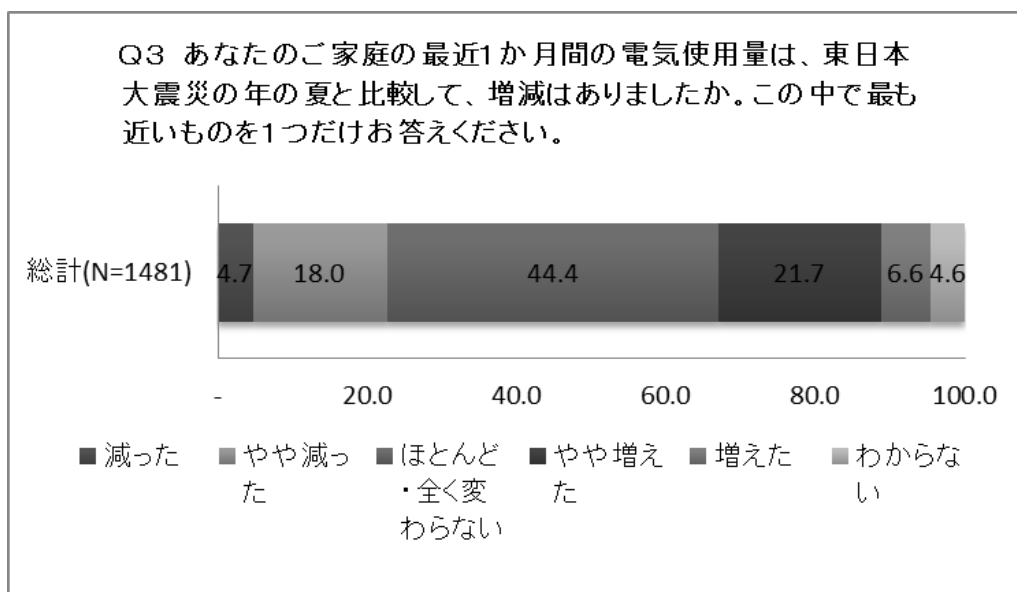
### 3. 調査結果

#### (1) 最近の環境の変化について

最近の環境変化について聞いた。「やや悪くなっている」36.9%、「悪くなっている」23.5%と「悪くなっている」との回答が合計で60.4%と多数を占める結果となった。

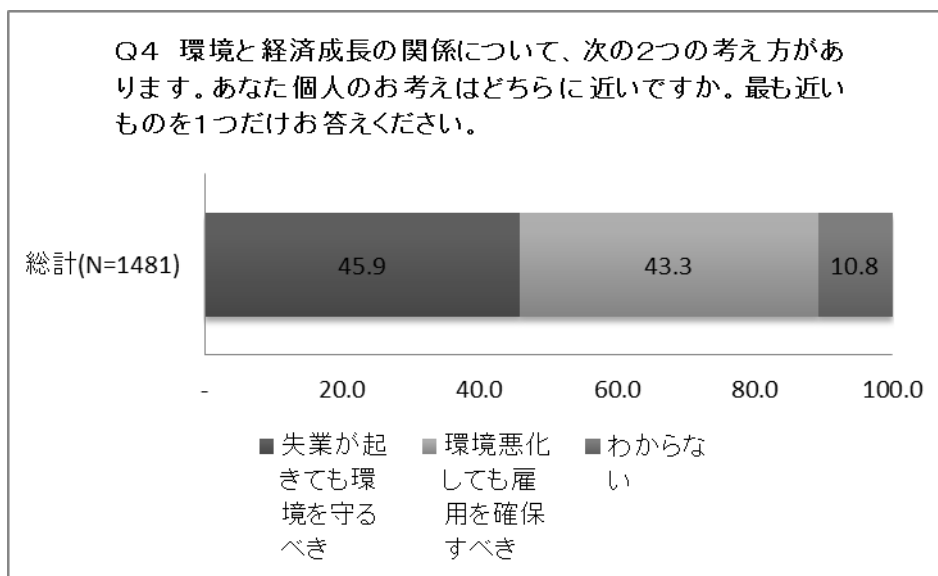


#### (1) 東日本大震災に起因する省エネ行動について



大震災以降、家庭におけるエネルギー、特に電力消費について省エネが励行された。そこで、東日本大震災の年の夏と比較してどの程度増減したかについて聞いた。「減った」「やや減った」をあわせて22.7%となり、さらなる省エネを継続する家庭が約2割あることがわかる。また「ほとんど変わらない」は44.4%強存在し、大震災直後の省エネが継続されている様子が伺える。

## (2) 環境保全と経済成長

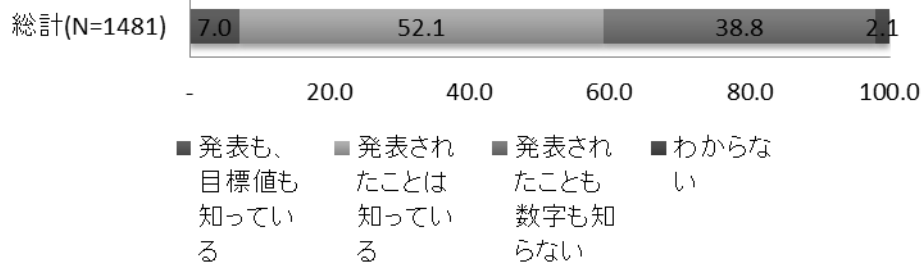


Q4は、これまで各種調査において繰り返し用いられてきた設問である。45.9%が「経済成長よりも環境保全」、43.4%が「環境よりも経済成長と雇用」を選択しており、大きな差はみられなかった。

## (2) 温暖化目標について

現在、温室効果ガス削減目標値の設定についての議論が世界的に進められている。日本も目標値を6月に発表し、新聞やテレビでも報道された。それについて知っているかどうか聞いたところ(Q5a)、発表も目標値も知っているが7.0%、発表されたことは知っているが52.1%であった。この目標値は、今後数十年にわたって私たちの日常生活に大きな影響を与えていく政策のもととなる。さらに、日本政府は6月に目標値を発表したが、この目標値は秋～冬にかけて交渉が進められ、世界各国との約束事項となる予定である。この交渉にあたっての考え方について聞いたところ(Q5b)、最も多い回答が「将来排出される量も勘案した値」が39.6%とほぼ4割となった。次は、GDPをもとにする(23.7%)、先進国が責任として考える(15.7%)、排出量が公平になる値(9.5%)となった。

Q5a 現在、地球温暖化を防止するために、世界の各国はあらたな温室効果ガス削減の目標値を設定しています。わが国でも、2030年を目標にその目標値をどう設定するかについて、政府を中心に議論が行われました。あなたは、この議論の結果、この6月に日本としての目標値が発表されたことをご存じでしたか。この中から1つ選んでください。

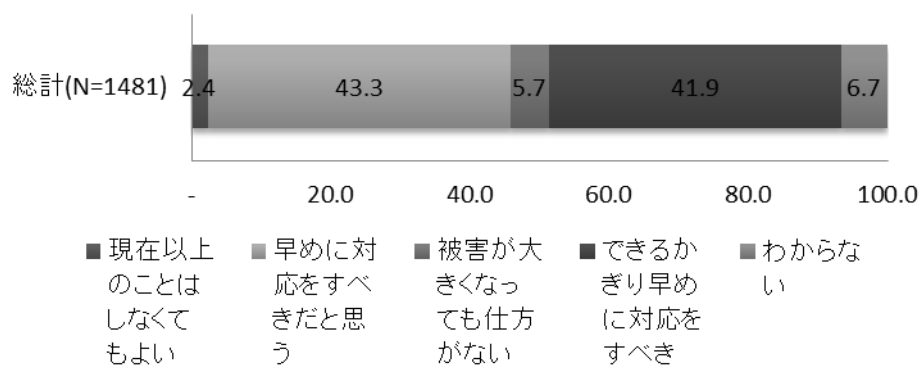


Q5b 今後、国内で議論の結果定められた目標値を国際的な約束として認めてもらうために、世界各国との話し合いが行われる予定です。先進各国が最大限の削減努力を行うことを前提に、この話し合いに臨むにあたって、どの考え方が将来の日本にとって最もよいと思いますか。あなた自身のお考えに最も近いものを1つ選んでください。



さらに今後の対応について聞いたところ(Q5c)、現在以上のことはしなくても良い(2.4%)、被害が大きくなっても仕方がない(5.7%)という対応に躊躇する回答は合計で8.1%に過ぎず、早めに対処すべき(43.4%)、出来る限り早めに対応すべき(41.9%)と合計で85.3%と圧倒的な回答率となった。また、これまでの設問を踏まえて、現在の環境問題の責任の所在について聞いた(Q6)。「先進国」に責任が38.8%であるが、最も多いのが「双方に同じくらい」で50.6%であった。昨今の途上国の経済成長が認識されていると思われる。

Q5c 温室効果ガス削減も含め、あなたは、日本が地球温暖化（気候変動）問題に、これからどのような考え方で対応していくべきだと思いますか。あなた自身のお考えに最も近いものを1つ選んでください。

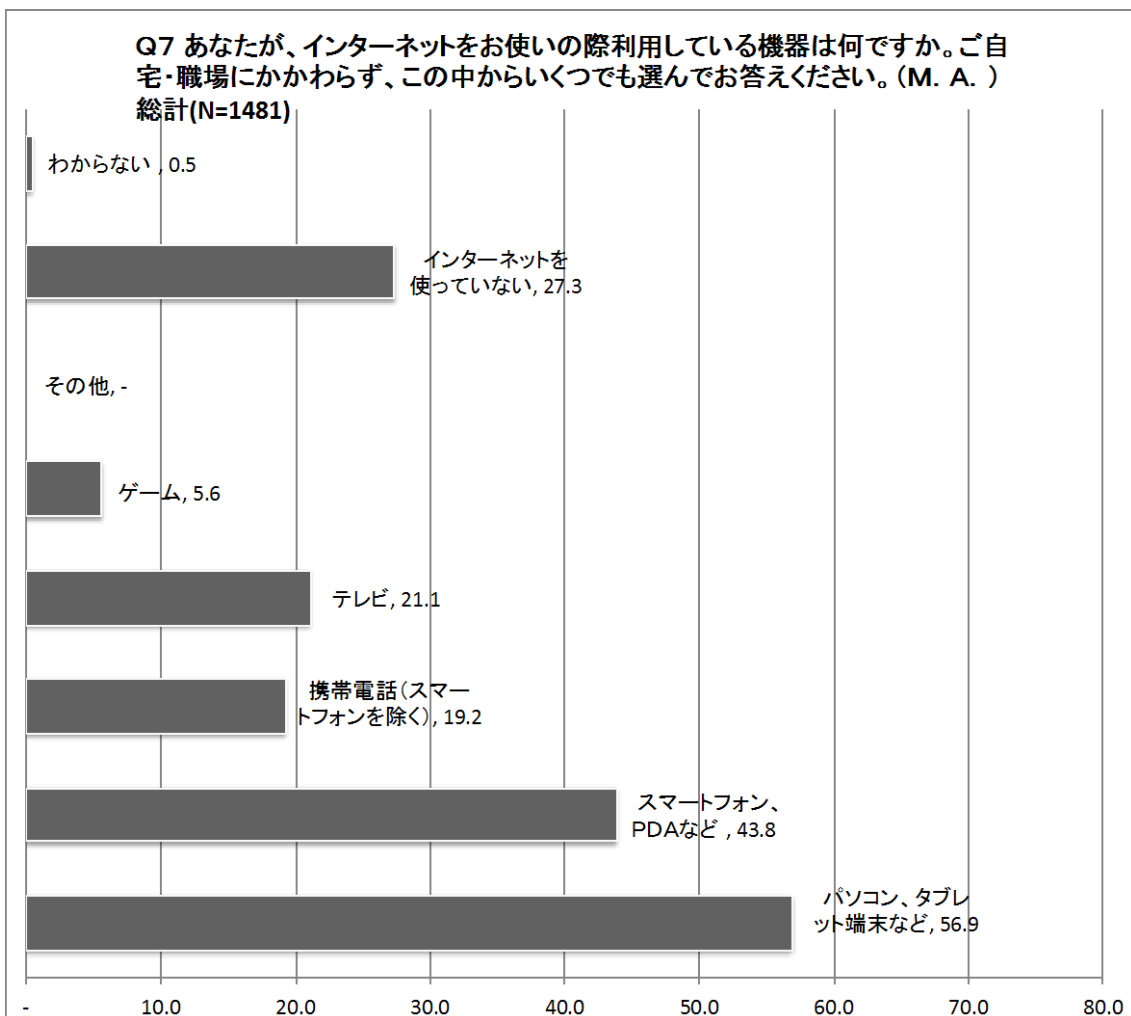


Q6 今の世界の環境問題は、先進工業国、途上国のどちらに、より責任があると思いますか。もしくは、双方に同じくらいの責任があると思いますか。



#### (4) インターネット使用状況について

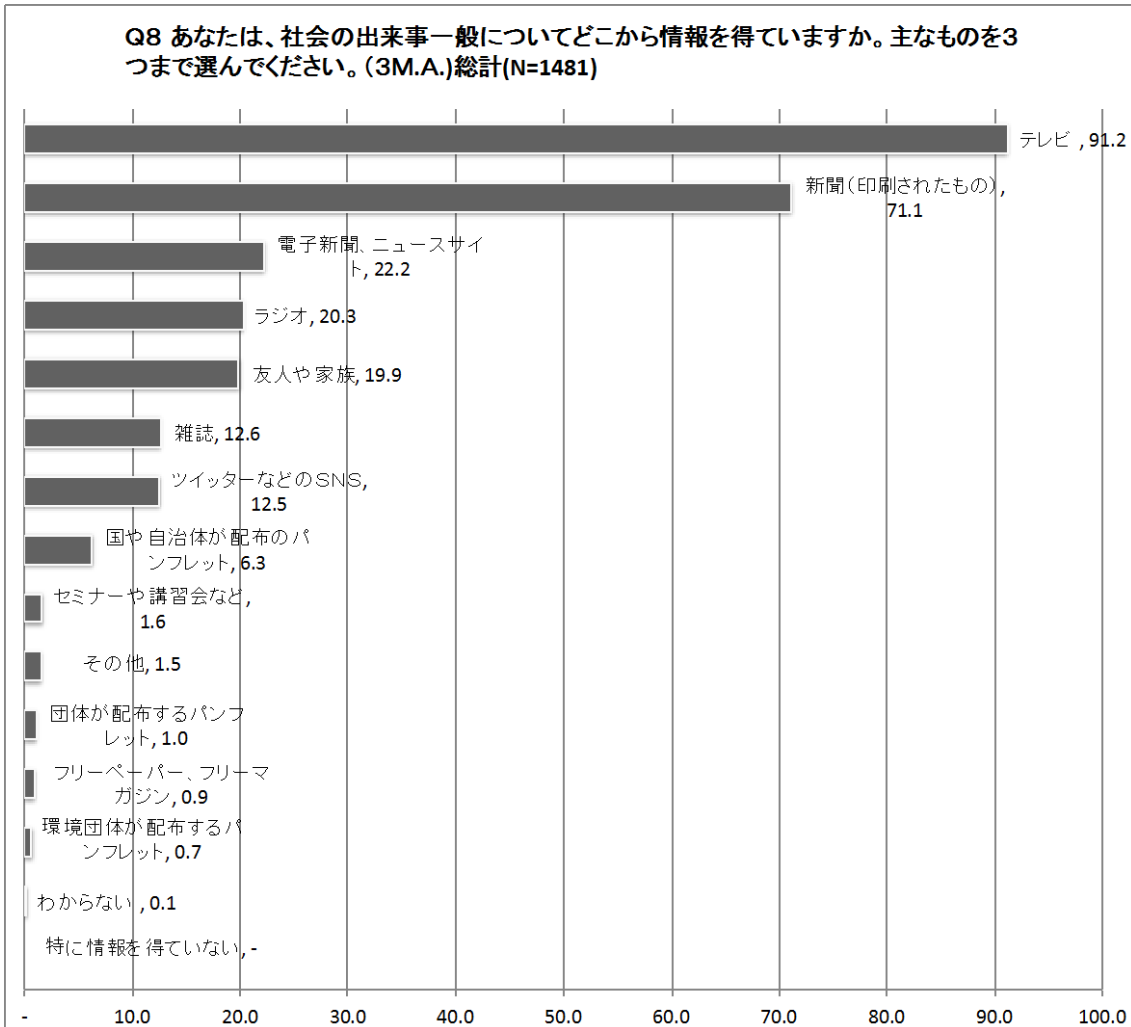
最近では、新聞などはほとんど各社無料でウェブサイトを読むことができ、テレビニュースなども、ウェブサイトと連動している場合も多い。また各通信社も、無料でウェブ上でニュースを提供している。これらの情報をさらにまとめて提供しているサイトなどもある。各種調査において、使用状況が拡大しているインターネットについて、回答者の使用状況を把握するひとつとして機器について聞いた。Q 7は、「複数回答」であり、1名の回答者が複数の回答をしている。軸の100%は、各選択肢の数字は、総回答者数1,481名に対する割合を示す。



パソコン・タブレット端末などをインターネットへのアクセスに使っているのは全回答の56.9%であり、次に多いのが、43.8%の「スマートフォン、PDAなど」であり、「テレビ」(21.1%)、「携帯電話(スマートフォンを除く)」は19.2%である。「インターネットを使っていない」は、27.3%の回答者であった。昨年度と比較してこの数字はかなり動いており、特にスマートフォンの伸びは非常に大きいことが言える(昨年度は、携帯電話が2位であった)。

#### (5) 環境問題とその情報源について

次は社会の出来事一般についての情報源について聞いた(Q8)。最も多いのが、回答者の91.2%以上が選んだテレビであり、71.1%の新聞紙(印刷されたもの)、22.2%の電子版の新聞やニュースサイト、19.9%の友人や家族、20.3%のラジオ、12.6%の雑誌とつづき、12.5%がツイッター、フェイスブック、ミクシーなどのSNSと回答した。インターネット関連は、2013年、2014年の調査に比べ伸びている様子が伺える。

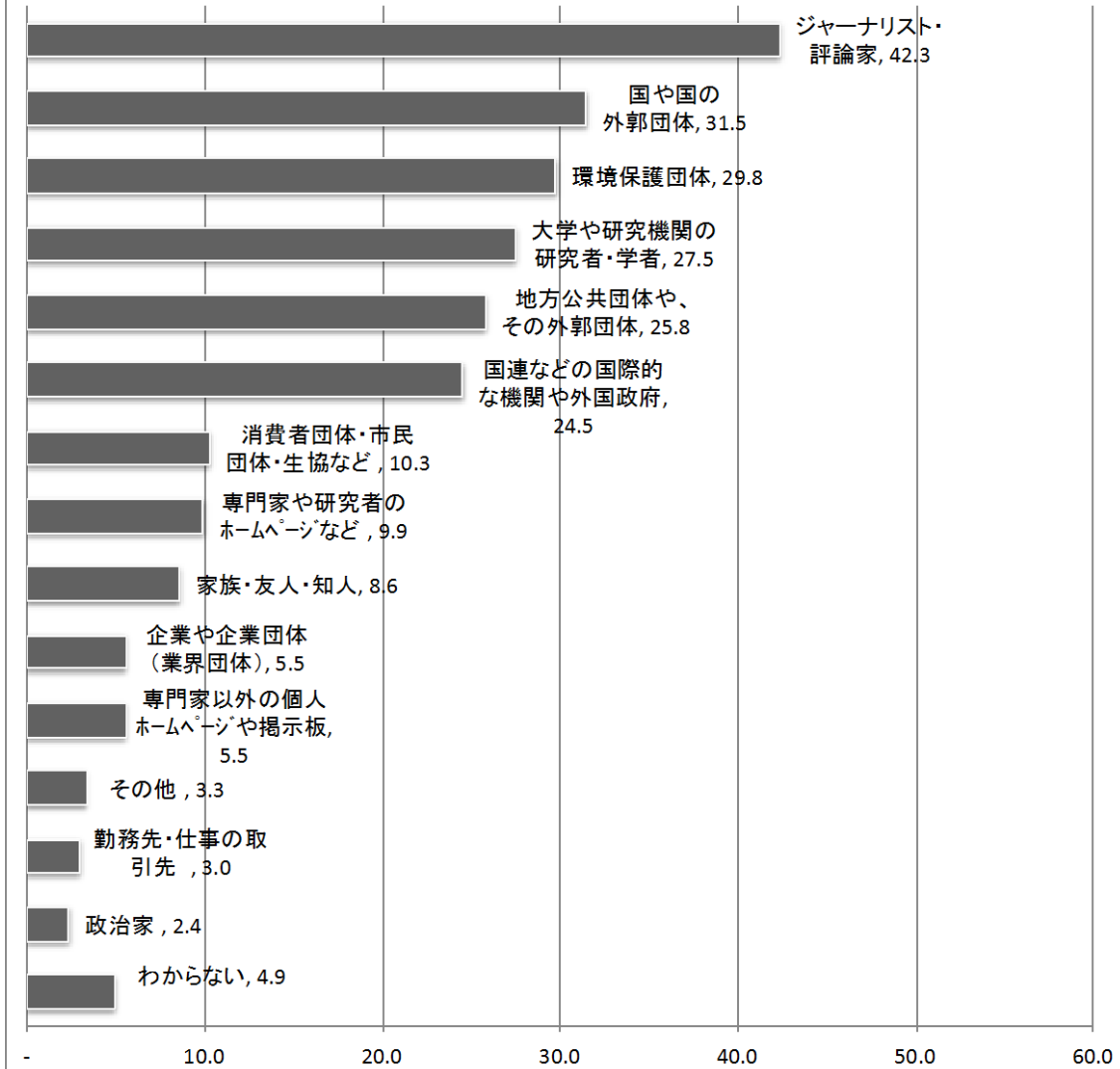


#### (6) 信頼できる情報源について

東日本大震災が起きた2011年3月11日以降、しばらくはテレビ番組も新聞もすべて東日本大震災関連のニュースばかりとなった。その中で、新しく使われるようになったインターネット経由の情報手段である様々なSNS (Facebookやtwitterなど) が大きな注目を浴びた。しかしながら、その情報の中には、いわゆる「デマ」に分類されるものなど様々な情報が含まれていたという問題もあった。

Q9が回答の結果であるが、最も選択されたのが「ジャーナリスト・評論家」で42.3%と半数近くとなった。次が「国や国の外郭団体」が31.5%、「環境保護団体」29.8%、「大学や様々な研究機関の研究者・学者」で27.5%、「地方公共団体など」が25.8%、「地方公共団体やその外郭団体」が25.8%と続く。

Q9 環境問題や原発、放射線の問題などについて、次の情報源のうちどこからの情報が最も信頼できると思いますか。信頼できると思うものを、次の中から3つまでお答えください。(3M.A.) 総計(N=1481)

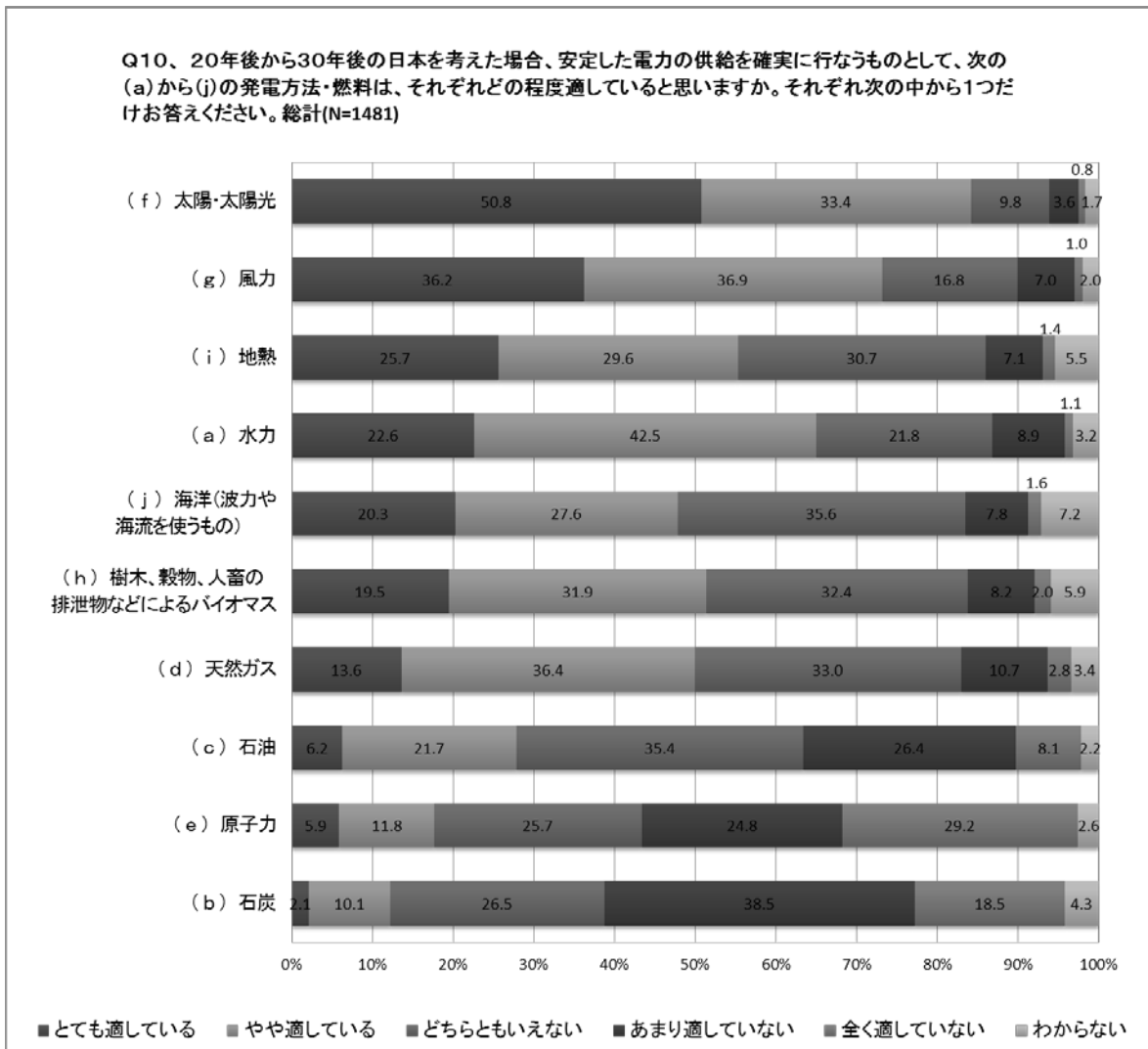


インターネット関連の選択肢も、全体としては大きくないが、「特に専門家ではない人のインターネットの個人のホームページや、個人が書きこむ掲示板(ブログなど)」5.5%、「大学や様々な研究機関の研究者や専門家が自分で書き込んでいる個人のホームページ、ブログ、ツイッターの情報」が9.9%と合計では15%を超える数字を得ている。

決して専門家とは限定できない人を含む「テレビ、新聞、雑誌などに出演して発言するジャーナリスト・評論家」が信頼できる情報源として過半数を占めたことは、解説や評価に当たって科学と技術の専門知識が必要な環境や大震災、津波、原子力発電所の事故などの事象について、マスメディアの役割は無視できないほど大きいと言うことを意味してい

るといえるであろう。もし、中途半端な知識や情報のままマスメディアで発信するということがあったとすれば、それはそのまま人々に「信頼できる情報」として受け入れられてしまう可能性を示唆している。

### (7) 様々なエネルギー源に対する好ましさの程度

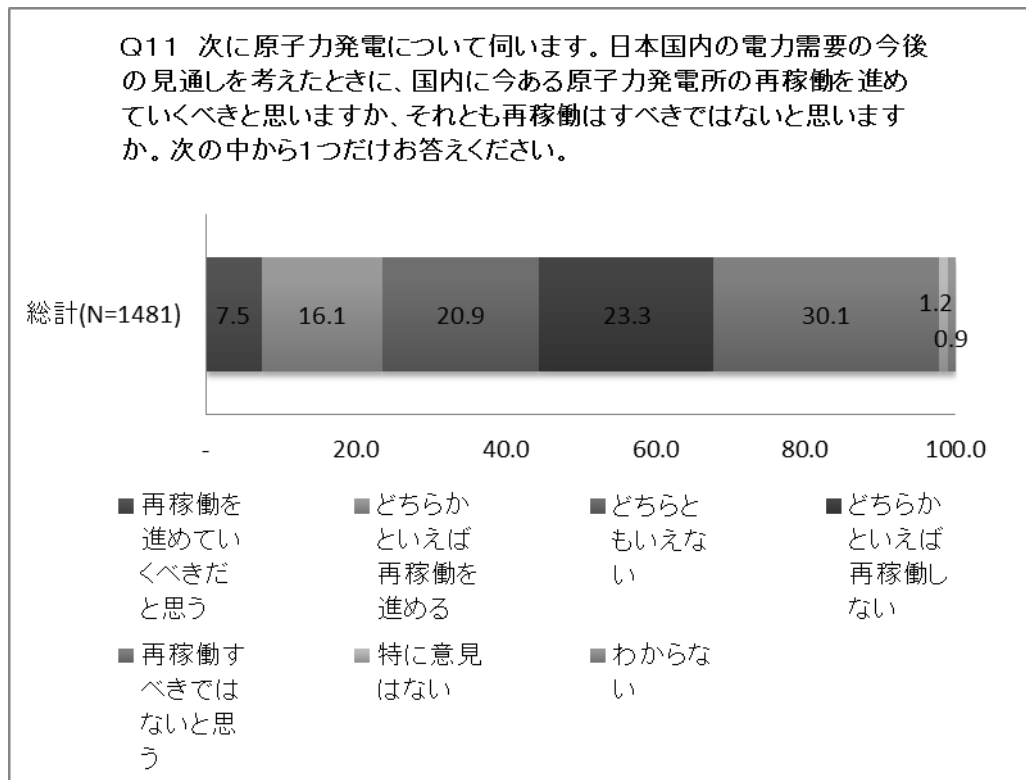


将来の日本野エネルギー供給について「20～30年後に安定した電力の供給を確実にこなう」という観点で10のエネルギー源について、それぞれの評価を聞いた(Q10)。図では、「とても適している」の回答率の高い順に並べている。「とても適している」について、最も回答率の高いものは太陽・太陽光の50.8%、続いて風力の36.2%、以下、地熱、水力と続く。一方、最も回答が少なかった順に、石炭が2.1%、原子力5.9%隣、石油、天然ガスと続く。



### (8) 原子力発電所の再稼働について

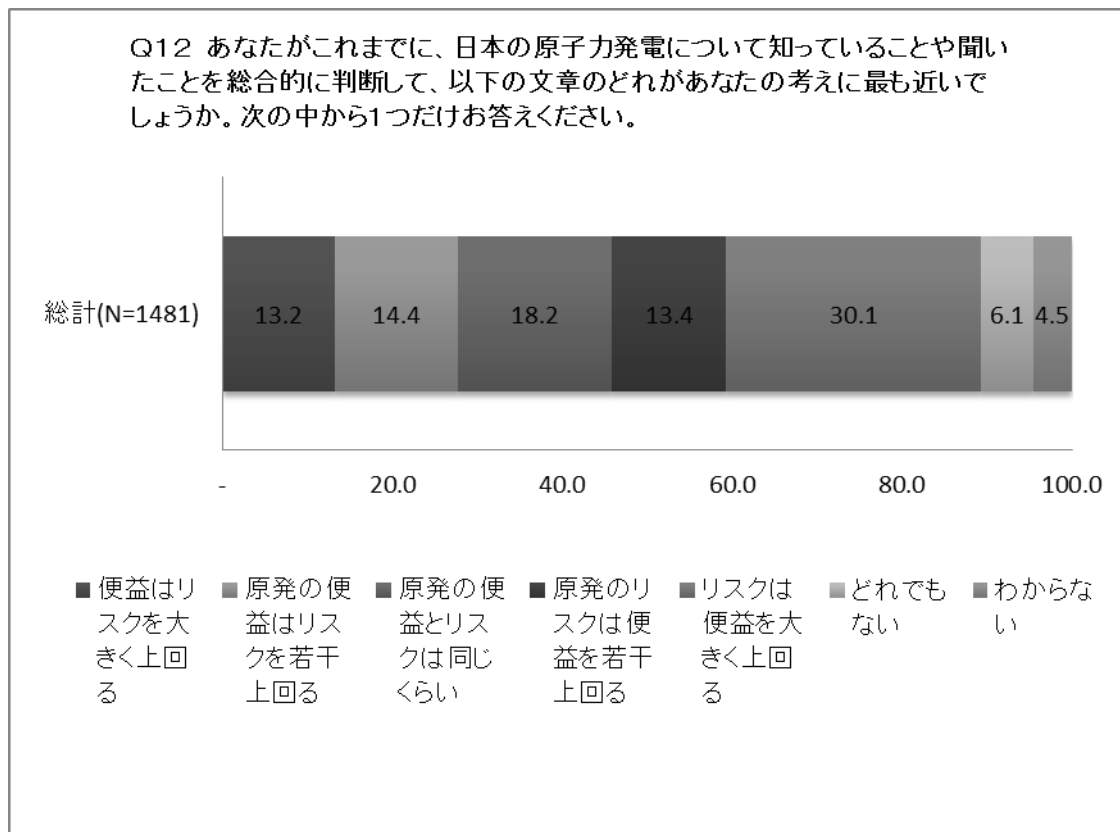
原子力発電所の再稼働の是非について聞いた（Q11）。「再稼働を進めていくべき」7.5%、「どちらかというに進めていくべき」16.1%、「どちらともいえない」20.9%、「どちらかといえば再稼働すべきではないと思う」23.3%、「再稼働すべきではないと思う」30.1%であった。また、これらの数字は2013年、2014年の調査と比べてほとんど動いていない。



### (9) 原子力発電のリスク・便益比較

人々は便益をどのように評価しているのだろうか。リスクと便益を比較した文章を提示し選んでもらった結果が、Q12である。回答のうち、最も多い選択肢が「原子力発電によるリスクは、その便益を大きく上回る」30.1%であり、「原子力発電による便益とリスクはほぼ同じくらい」の18.2%、と続く。大きくみて、27.6%の回答者（「便益はリスクを大きく上回る」と「便益はリスクを若干上回る」の合計）は、「原子力発電の便益はリスクを上回る」と考えており、逆に43.5%の回答者（「原発のリスクは便益を大きく上回る」と「原発のリスクは便益を若干上回る」の合計）は「原子力発電によるリスクは便益を上回る」と考えている。

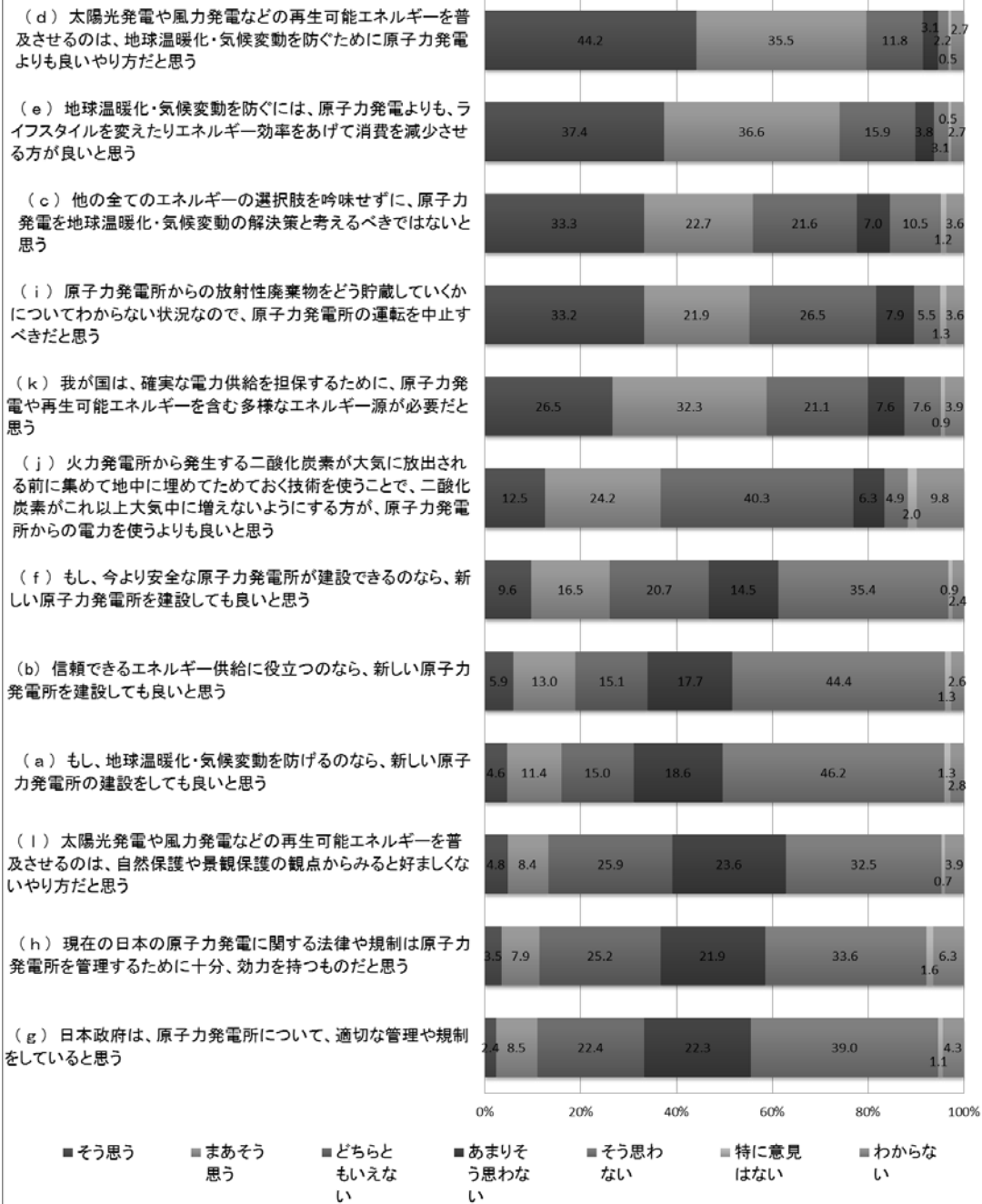
Q12 あなたがこれまでに、日本の原子力発電について知っていることや聞いたことを総合的に判断して、以下の文章のどれがあなたの考えに最も近いでしょうか。次の中から1つだけお答えください。



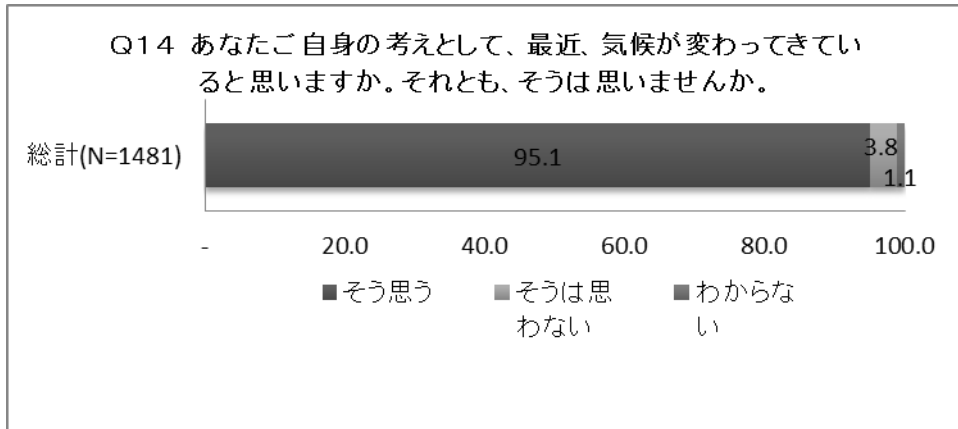
#### (10) 今後の原子力発電所の対応について

原子力発電、気候変動、再生可能エネルギー等について、12の文章を示し、それぞれの文章について「そう思う」から「そう思わない」までの5段階（と、「特に意見はない」）で評価してもらった。図13は「そう思う」の回答の多い順に並べている。「(d) 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う」、「(e) 地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う」「(c) 他のすべてのエネルギーの選択肢を吟味せずに、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う」、「(i) 原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う」の順に「そう思う」の回答率が高い。また、この順序は2013年2014年実施調査結果と順位に若干の入れ替わりがあるが、ほぼ同じ結果となった。

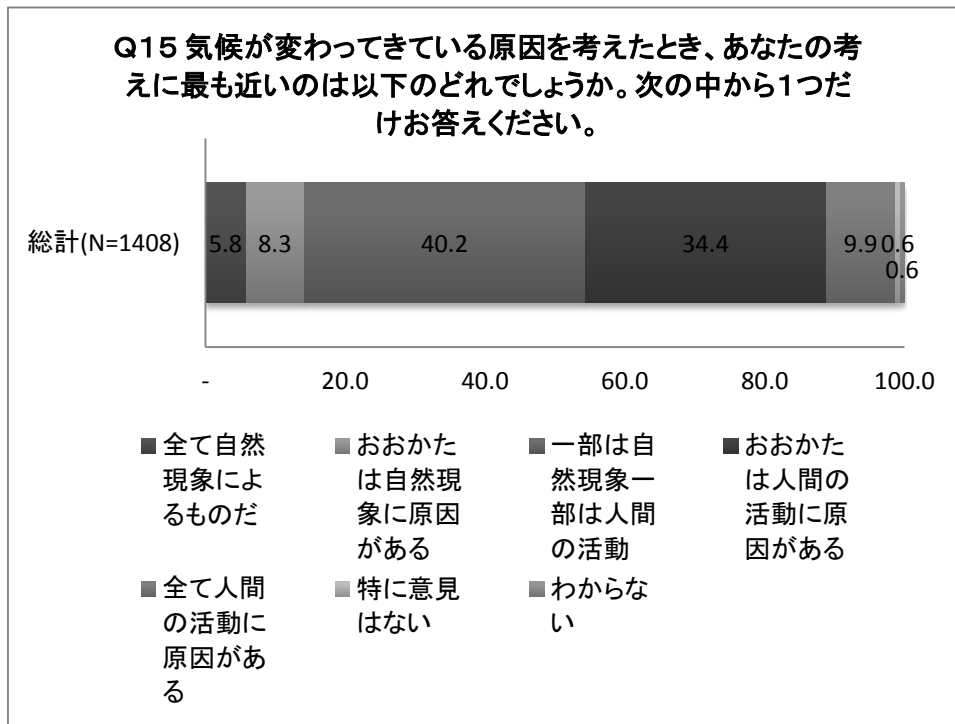
**Q13 ここにあげるそれぞれの意見について、あなたはどのように思いますか。(a)から(l)の意見についてお答えください。それぞれ次の中から1つだけお答えください。**



(11) 最近の地球上の気候の変化について

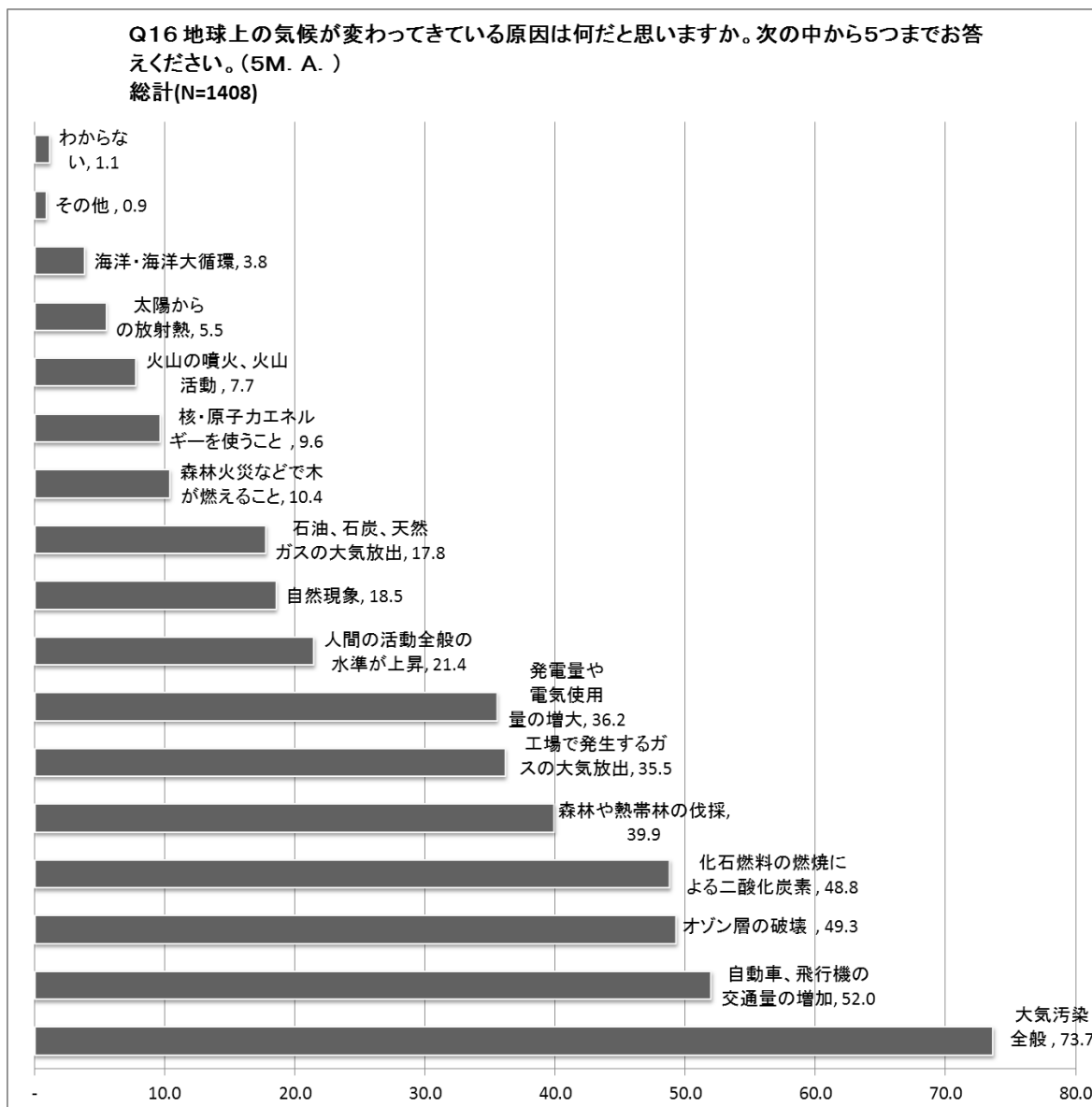


気候変動リスクの認知について、最近気候が変わってきていると思うか聞いた。95.1%が「そう思う」と回答し、大部分の回答者が最近気候が変わってきていると感じていることがわかった。続いて、「そう思う」と回答した場合に、さらにその原因を聞いた(Q15)。最も多い回答が、「一部は自然減、また一部は人間活動」(40.2%)、「おおかたは人間の活動に原因がある」(34.4%)の二つであり、合計で74.6%との結果となった。



### (12) 気候の変化の原因

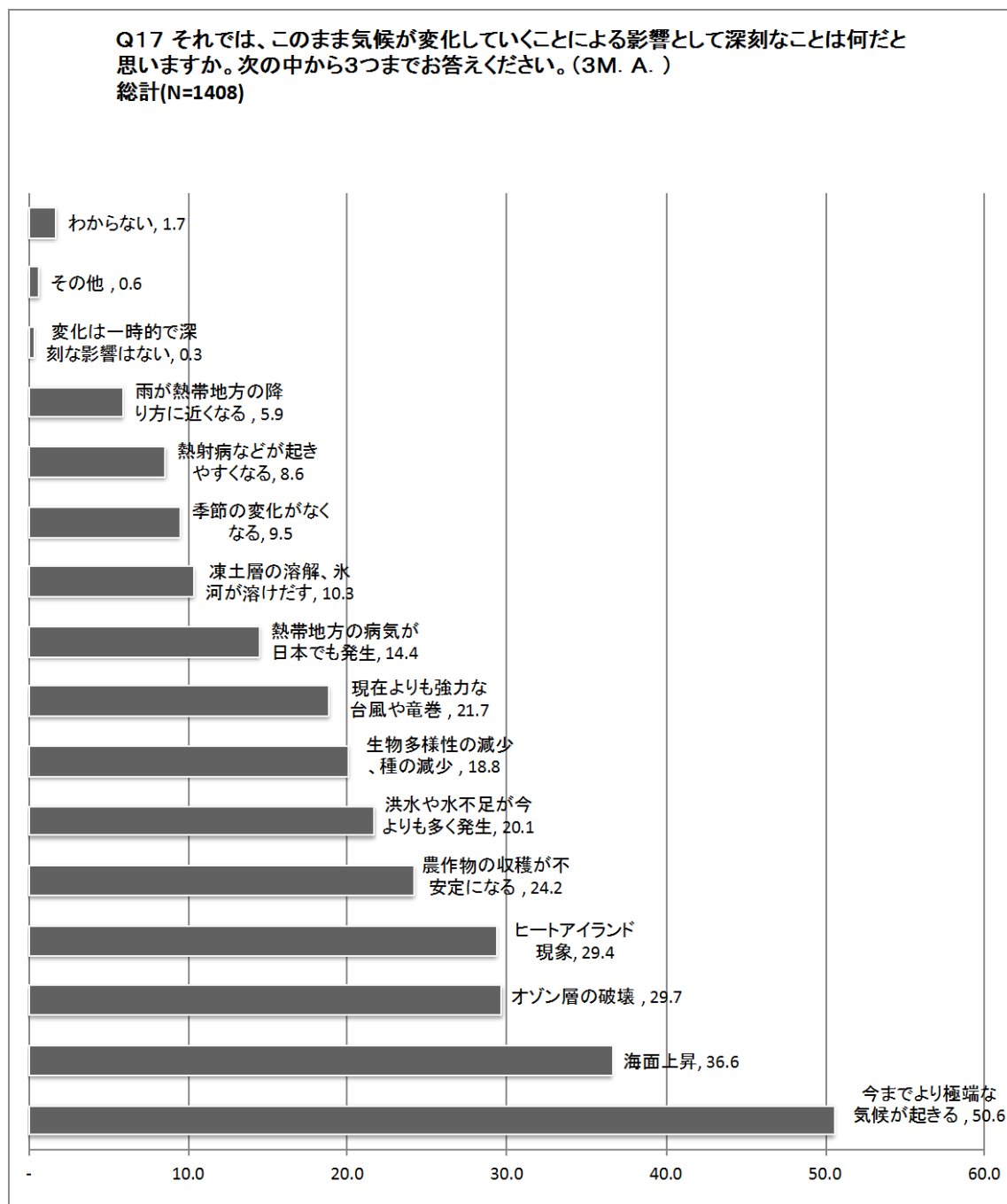
地球上の気候がかわってきている原因について聞いたところ(Q16)、「大気汚染全般」が最も多く73.7%、続いて「自動車飛行機等の交通量が増えていること」52.0%、オゾン層破壊」49.3%、「森林や熱帯林の伐採」が47.4%、「石炭など化石燃料の燃焼による二酸化炭素の発生」48.8%と続く。



### (13) 気候の変化の影響

Q17は、地球上の気候が変化していくことによる影響として深刻なこととして3つまで選んでもらったものである。最も多いのが、「(猛暑など) 今までより極端な気候がおき

る」50.6%、「海面上昇」36.6%、「ヒートアイランド」29.4%、などであった。実施時期が8月という真夏の時期であったことも、関係している可能性もある。



#### (14) 環境問題の将来世代への影響

環境問題も、東日本大震災による原発事故もいずれも将来世代への影響が議論される問題であることから、それらの影響に対する認知について聞いたのが、Q18である。66.9%が「大きな影響がある」と回答し、「やや影響がある」(29.0%)とあわせて95.9%が「影響がある」と回答した。

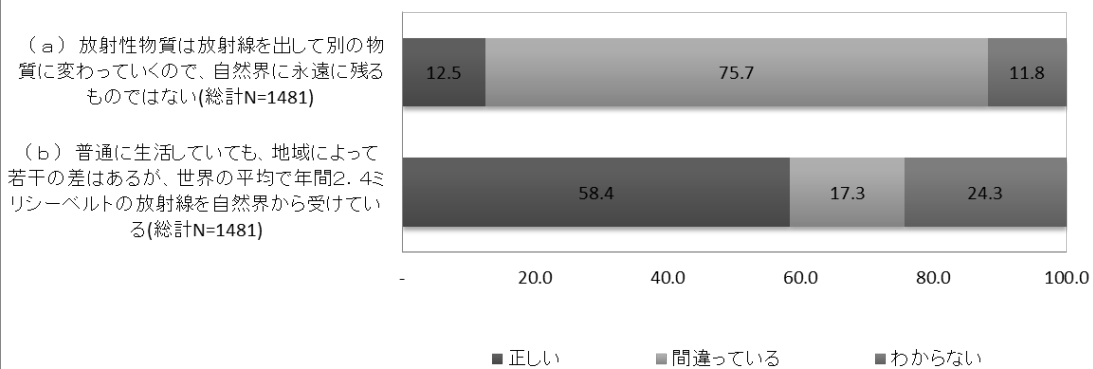
Q18 地球温暖化・気候変動をはじめとする環境問題や原発、放射線の問題などは、一般的に見て、子供世代や孫世代などの将来世代の生活や健康にどのくらい影響を与えますか。次の中から1つだけお答えください。



### (15) 放射線の性質について

放射能についての2つの質問をした。いずれの文章も正解である。この2問についてみると、(b)は58.4%と半数以上が正答であったが、(a)については、12.5%と正答率が低かった。誤答率が(a)は75.7%と非常に高く、大きな誤解が生じていることが見て取れる。

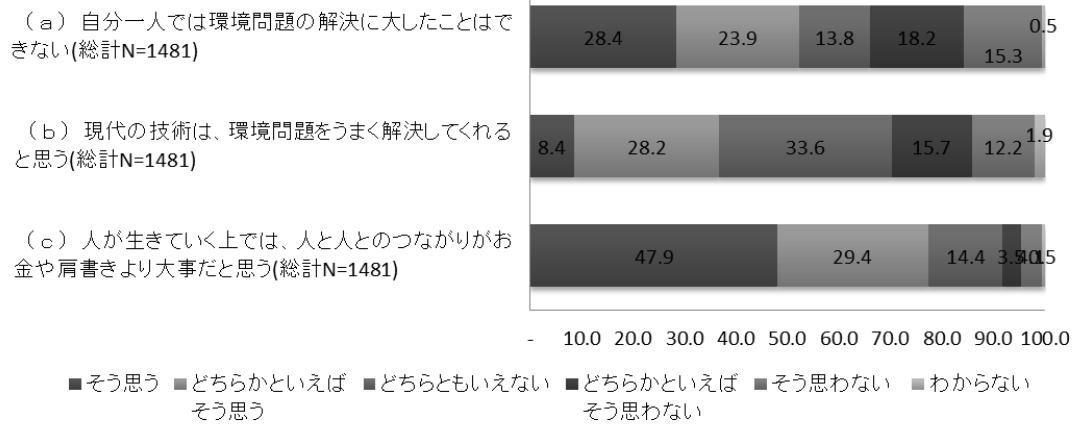
Q19 次の(a)と(b)の文の内容は、正しいと思いますか。次の中から1つだけお答えください。



### (16) 環境問題や人と人とのつながりについて

環境問題や人と人とのつながりについて3つの質問をした。「自分一人では環境問題の解決に大したことはできない」に「そう思う」(28.4%)と最も多い回答であった。また現代の技術の有効性についてもあまり肯定的ではなく、「そう思う」は8.4%、「どちらかと言えばそう思う」は28.2%であるが、最も多いのが「どちらとも言えない」で33.6%となっている。「人が生きていく上で人と人とのつながりがお金や肩書きより大事」については、47.9%が「そう思う」と回答し、人と人とのつながりの重要性が大きく認識されている。

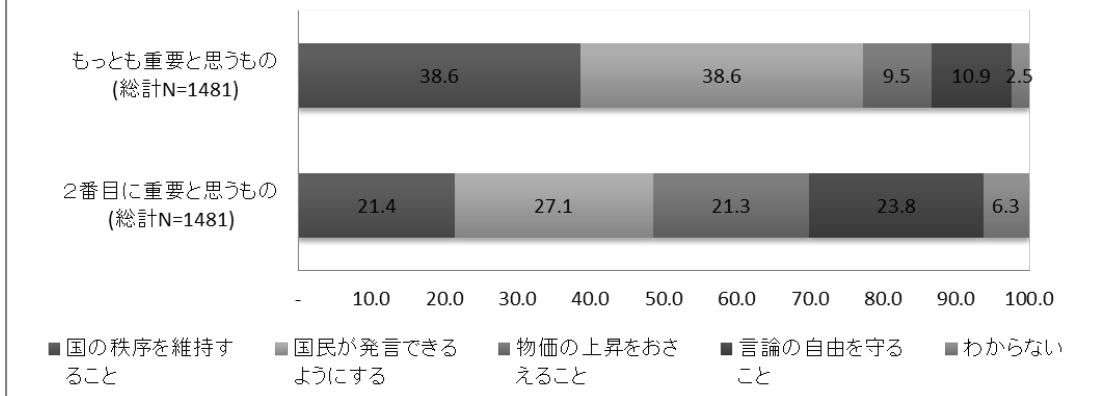
**Q20 ここにあげる(a)から(c)の考えについて、あなたはどのように思いますか。それぞれ、次の中から1つだけお答えください。**



**(17) 国が心がけるもの**

国の心がけることとして重要なことを順番にあげてもらったところ(Q21)、もっとも重要なものは「国の秩序」38.6%、「国民が発言」38.6%であり、二番目に重要なものとして、「国民が発言」27.1%、「物価の上昇を抑えること」23.8%となった。

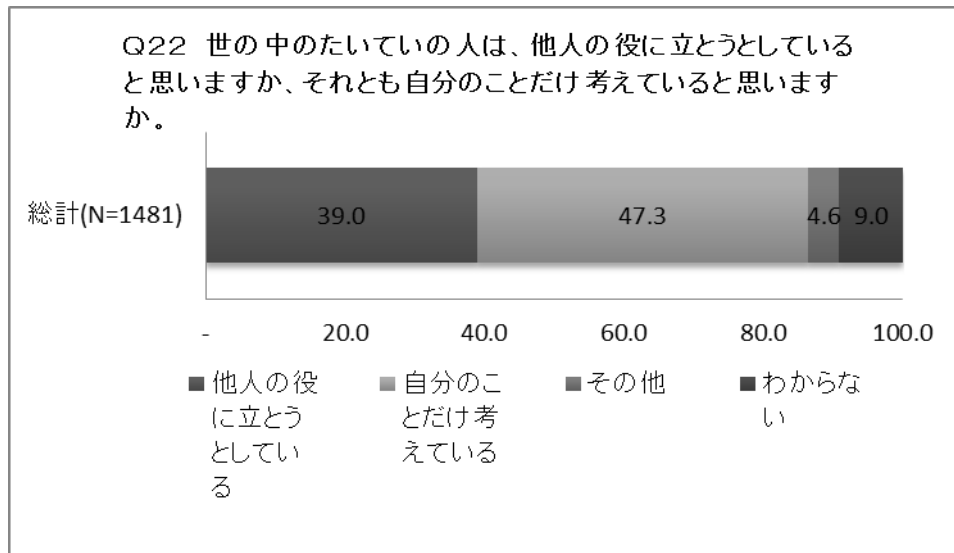
**Q21 国が心がけることについて、もっとも重要だと思うのはどれですか。また、2番目に重要だと思うのはどれですか。それぞれ次の中から1つだけお答えください。**





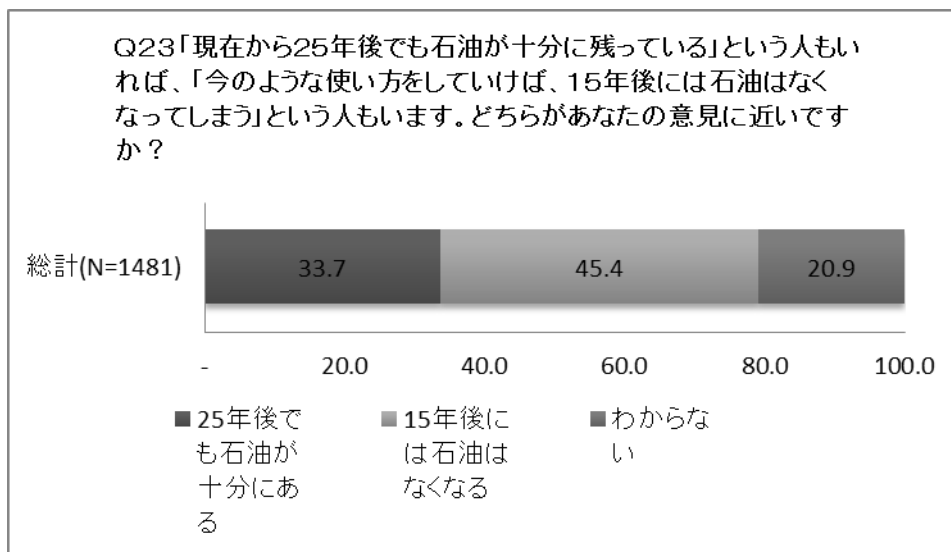
### (18) 人の役に立つこと

「世の中のたいいていの方は他人の役に立とうとしているか」について聞くと、39.0%が「他人の役に立とうとしている」と回答し、同時にそれより多い47.3%が「自分のことだけ考えている」と回答が大きく二つに分かれる結果となった。



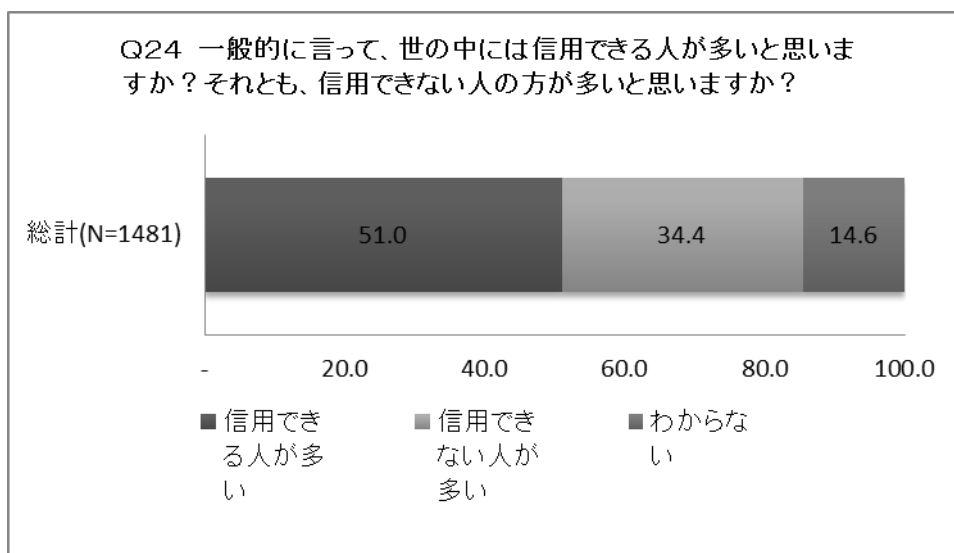
### (19) エネルギーについての見解

日本においては、1970年代から議論になっているエネルギー枯渇についての見解を聞いた。25年後の石油、15年後の石油の枯渇、それぞれ33.7%、44.4%と枯渇に近い意見を持っているの方が10ポイント以上多いことがわかる。



## (20) 人の役に立つこと

社会的な信頼についての質問である。51%の人が一般的に信用できる人が多いと回答した。

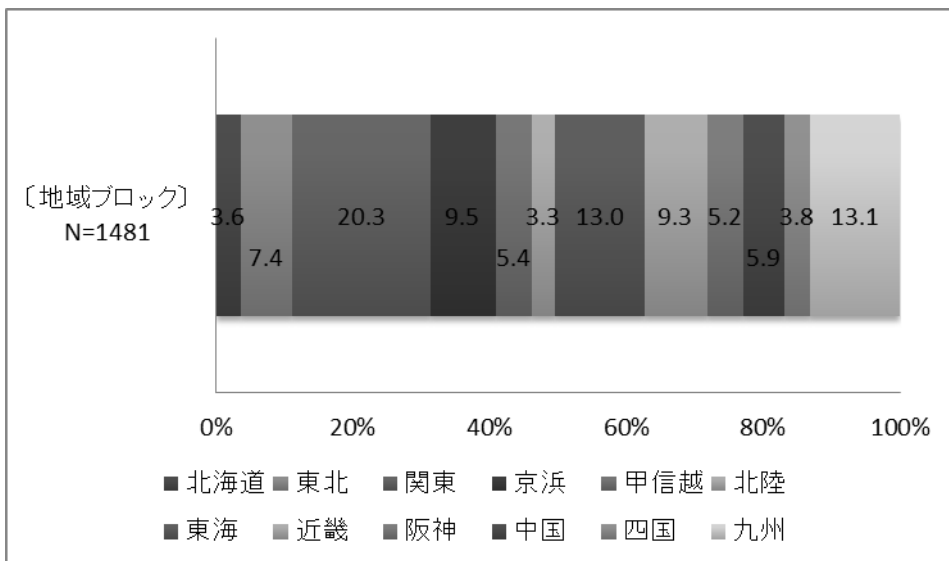
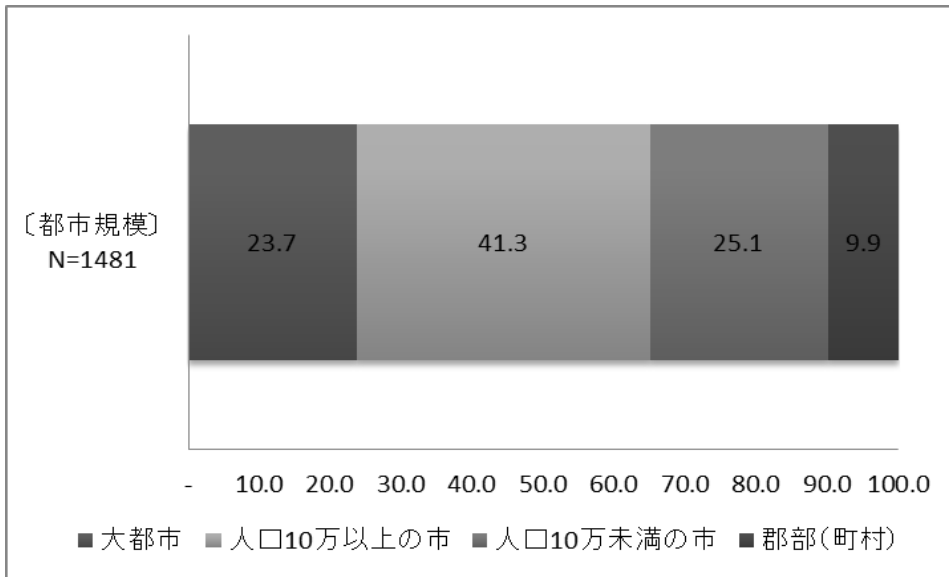


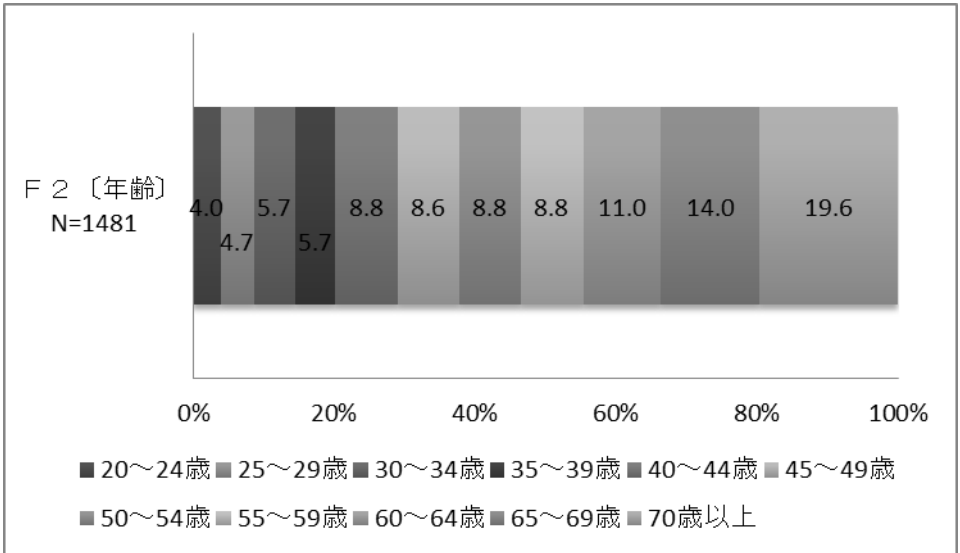
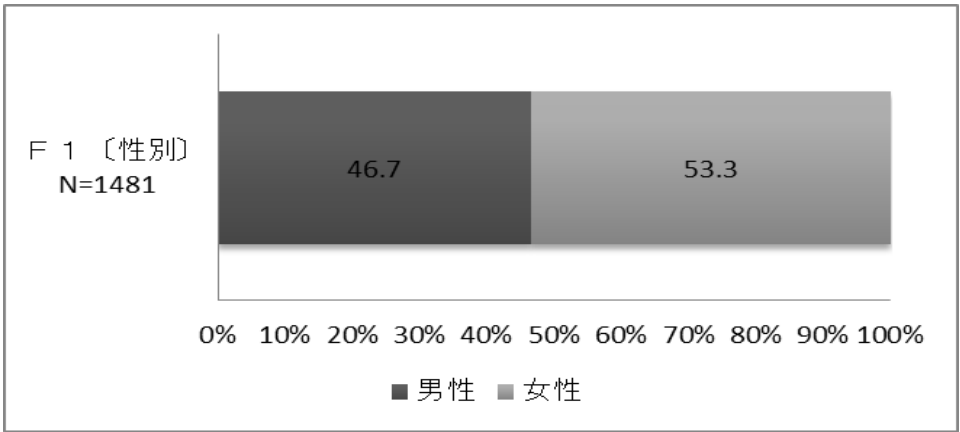
## 4. 回答された方々の属性

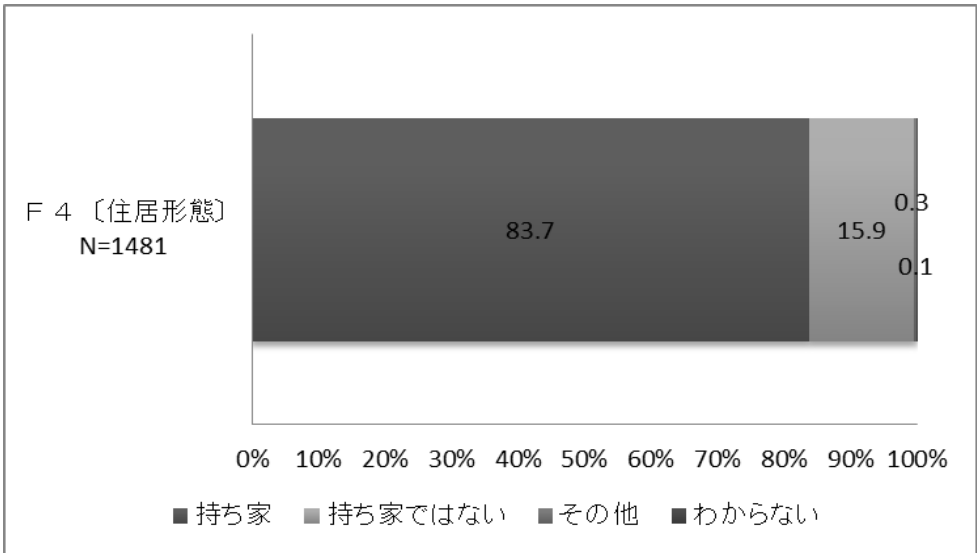
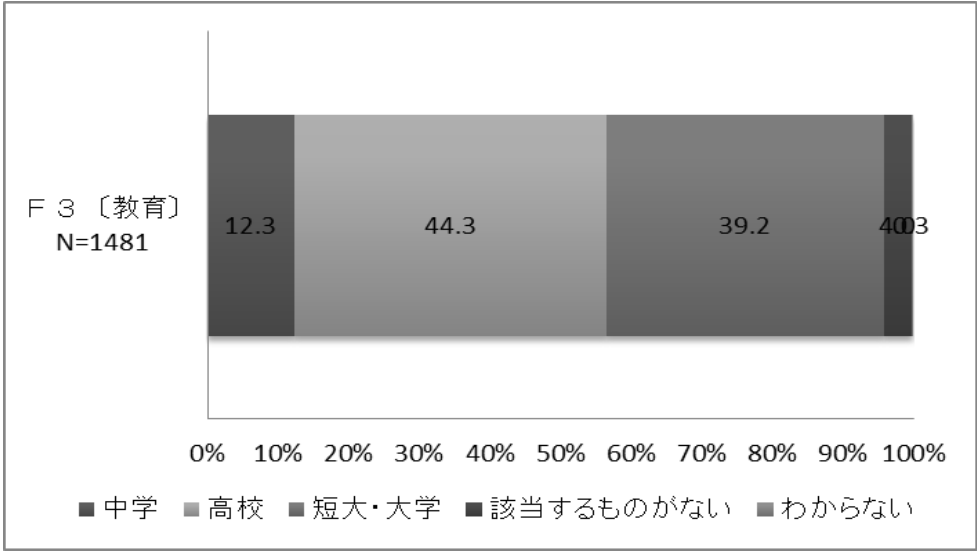


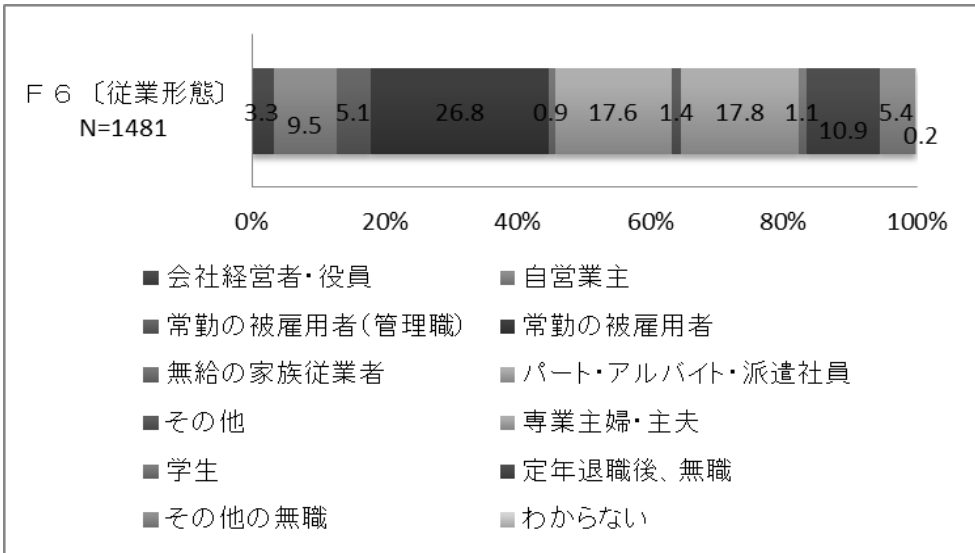
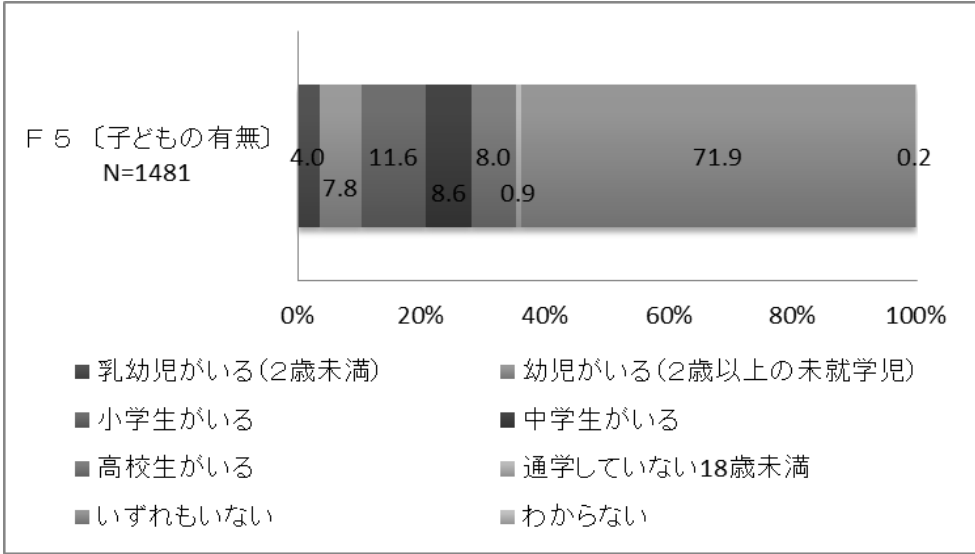
#### 4. 回答された方々の属性

##### (1) 基本属性

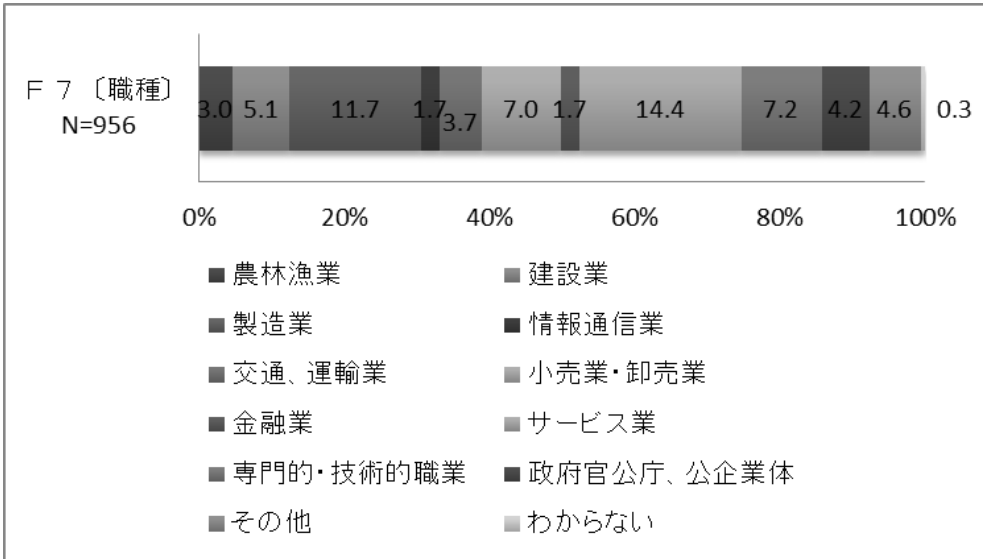




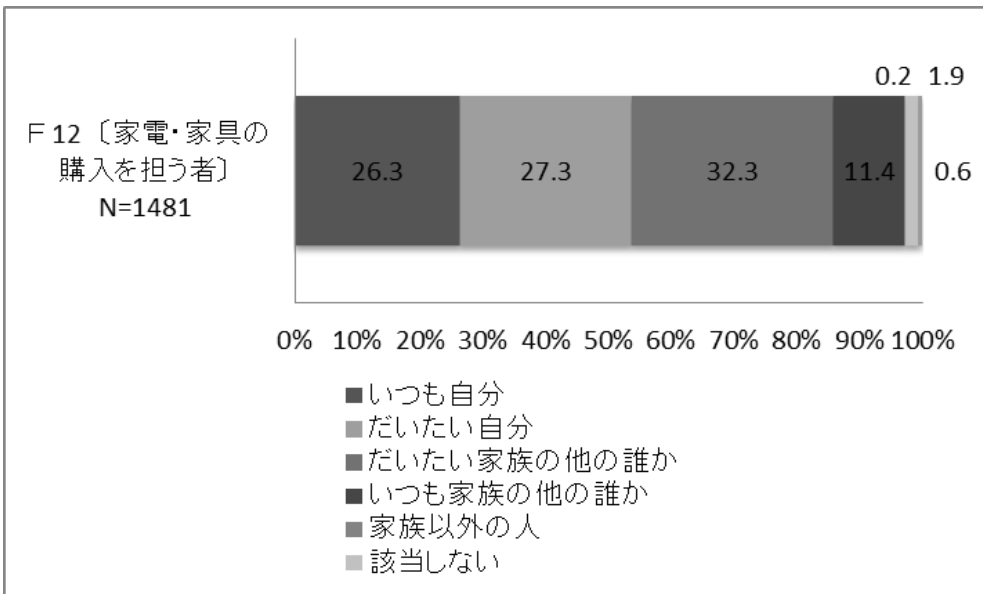


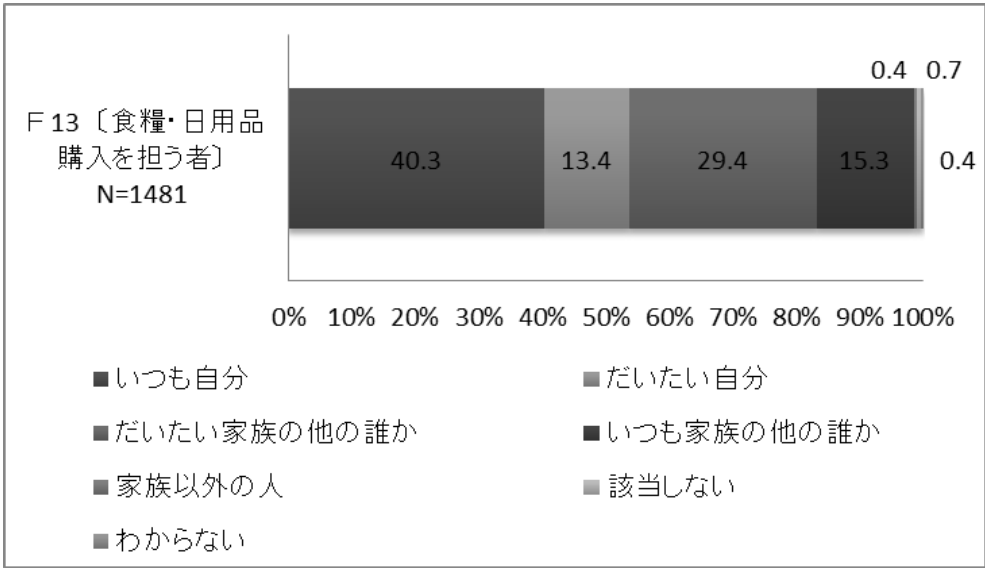
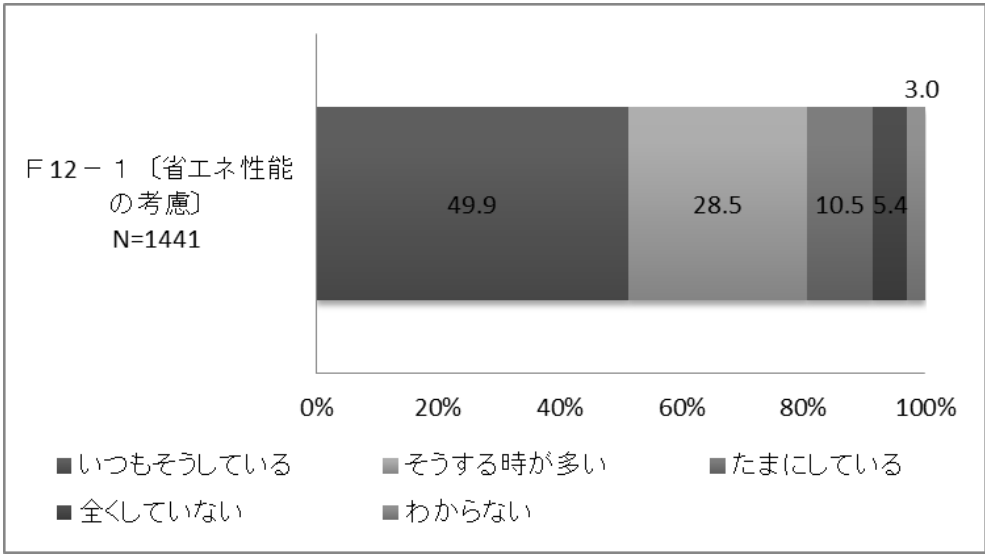


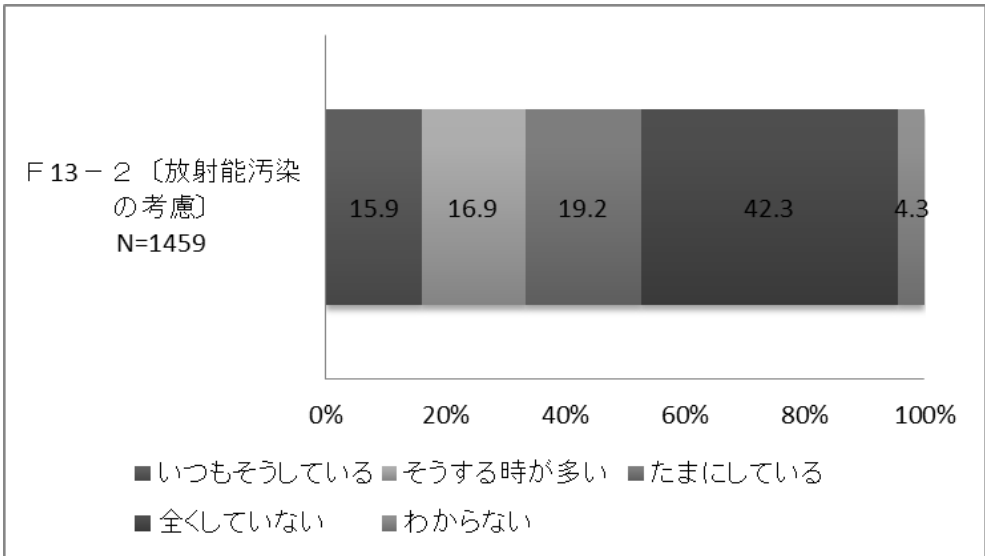
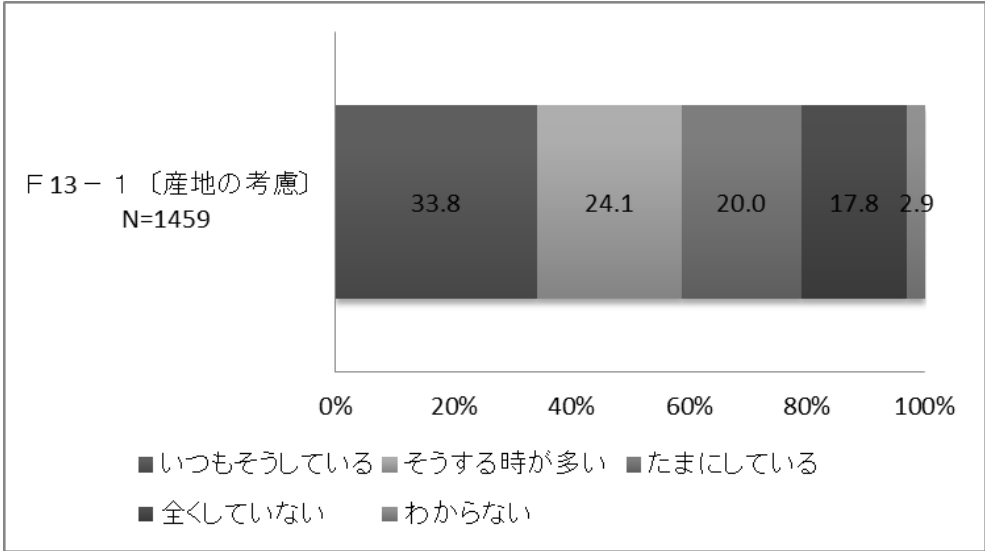


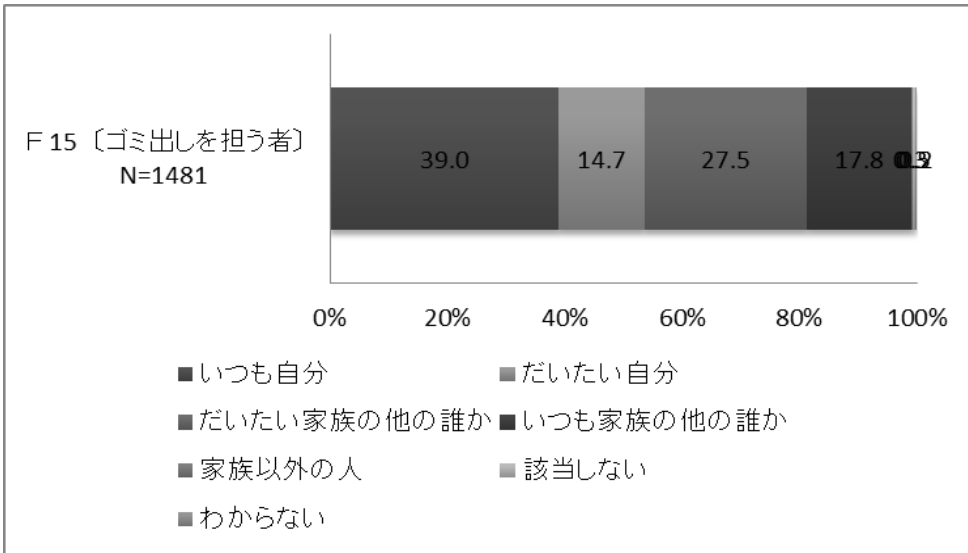
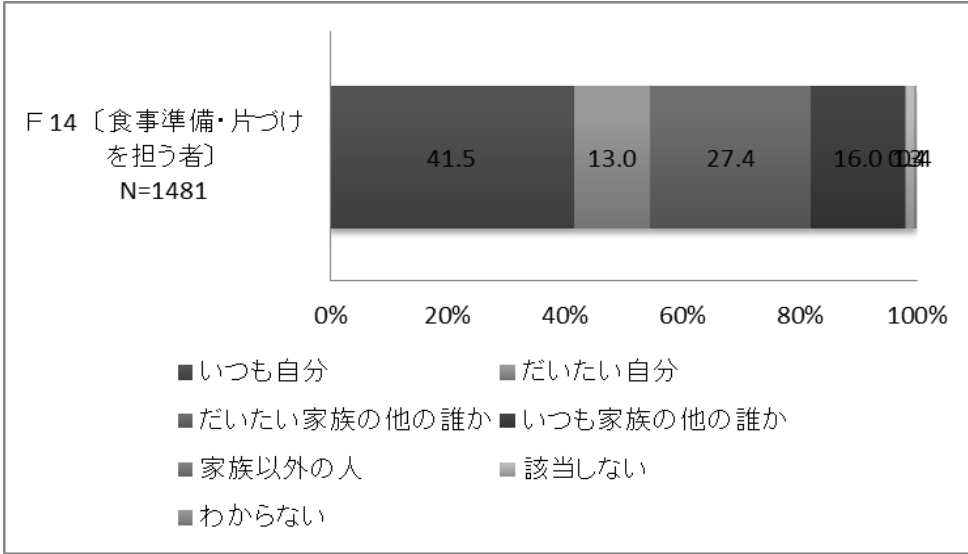


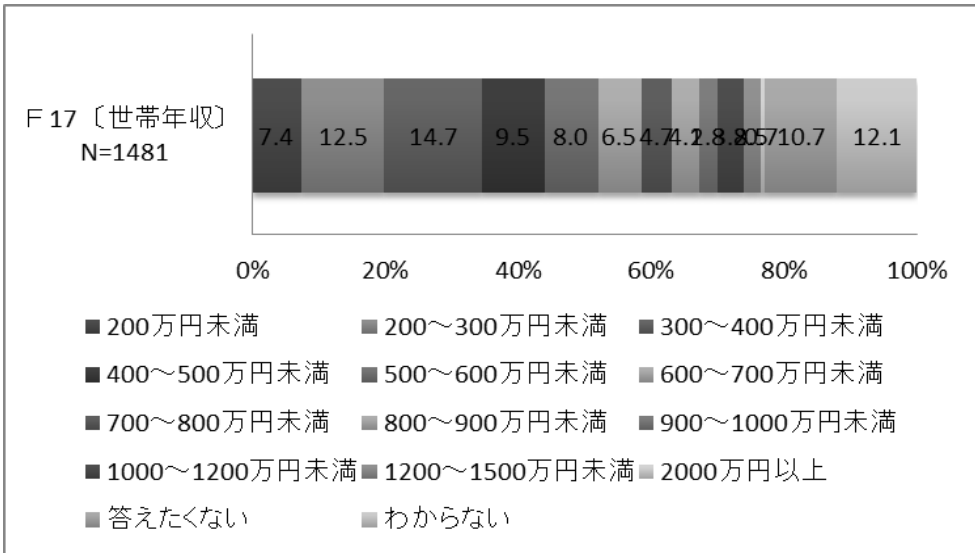
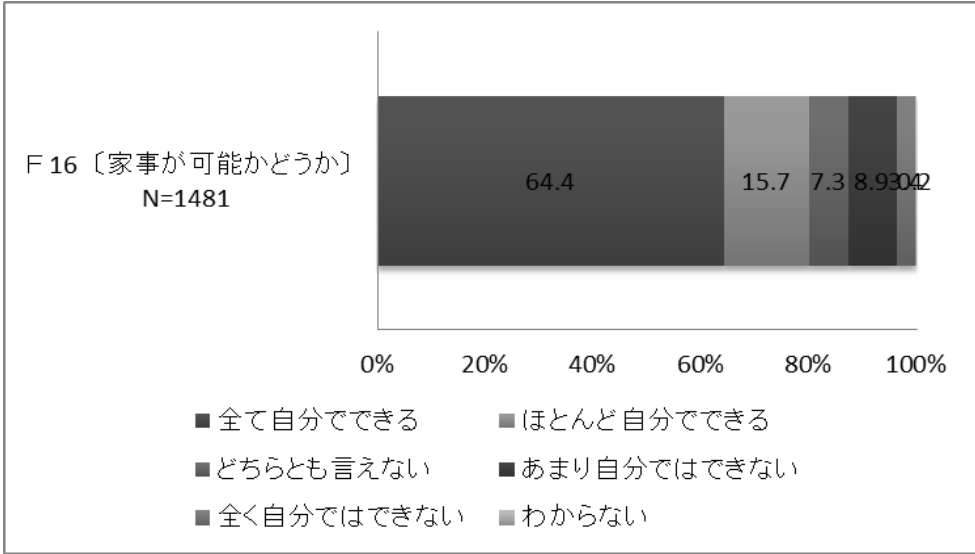
(F8~F11 は省略)











(以上)



## 5. 調査票





# ライフスタイルのあり方に関する世論調査

平成 27 年 8 月

---

<まず、環境問題全般について伺います>

Q 1 a. あなたは、わが国全体を考えたとき、現在最も深刻な環境問題は何だと思えますか。

最も深刻だと

思うことを1つだけお答えください。(F. A.)

( )

---

Q 1 b. では、世界全体を考えたときには、現在最も深刻な環境問題は何だと思えますか。最も深刻だと

思うことを1つだけお答えください。(F. A.)

( )

---

Q 2. [回答票1] 私たちを取り巻くさまざまな自然環境や環境問題の状況は、ここ数年間でどう変わってきていると思えますか。この中から1つだけお答えください。

1	2	3	4	5	6
よく なっている	ややよく なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	わからない

---

<最近の暮らしについて伺います>

Q 3. [回答票 2] あなたのご家庭の最近 1 か月間の電気使用量は、東日本大震災の年の夏と比較して、増減はありましたか。この中で最も近いものを 1 つだけお答えください。

- 1 減った（電力消費量で 10%以上）
- 2 やや減った（電力消費量で 5～10%以下程度）
- 3 ほとんど・全く変わらない（電力消費量でだいたい同じか 5%以下程度）
- 4 やや増えた（電力消費量で 5～10%以下程度）
- 5 増えた（電力消費量で 10%以上）
- 6 わからない

<環境と経済成長について伺います>

Q 4. [回答票 3] 環境と経済成長の関係について、次の 2 つの考え方があります。あなた個人のお考えはどちらに近いですか。最も近いものを 1 つだけお答えください。

- 1 経済成長が遅くなり、失業が起きても環境を守るべきだ
- 2 環境がある程度悪化しても、経済成長を優先し雇用を確保すべきだ
- 3 わからない

---

Q 5 a. [回答票 4] 現在、地球温暖化を防止するために、世界の各国はあらたな温室効果ガス削減の目標値を設定しています。わが国でも、2030 年を目標にその目標値をどう設定するかについて、政府を中心に議論が行われました。あなたは、この議論の結果、この 6 月に日本としての目標値が発表されたことをご存じでしたか。この中から 1 つ選んでください。

- 1 発表されたことも、またその目標値の数字も知っている
  - 2 発表されたことは知っているが、数字は知らない
  - 3 発表されたことも数字も知らない
  - 4 わからない
-

Q 5 b. [回答票 5] 今後、国内で議論の結果定められた目標値を国際的な約束として認めてもらうために、世界各国との話し合いが行われる予定です。先進各国が最大限の削減努力を行うことを前提に、この話し合いに臨むにあたって、どの考え方が将来の日本にとって最もよいと思いますか。あなた自身のお考えに最も近いものを1つ選んでください。

先進各国が最大限の削減努力を行うことを前提に…

- 1 日本を含む先進国が、これまでに出してきた温室効果ガスの総量を地球温暖化を引き起こした「責任」として考えるのがよい
- 2 地球上に住む人々は同じだけ温室効果ガスを排出する権利があると考えて、一人当たりの排出量が長期的にみて公平になる値に設定すると考えるのがよい
- 3 世界の国々間で経済的な格差は大きいので、対策に投資できる額に大きな差がある。各国のGDP（国内総生産：経済活動の大きさ）や、一人あたりのGDP（国内総生産の一人あたりの大きさ）をもとにして、考えるのがよい
- 4 これから経済成長をする国々の責任を考えて、これまでの温室効果ガス排出量だけでなく、これから将来に排出されると予測される総量も勘案して考えるのがよい。
- 5 わからない

Q 5 c. [回答票 6] 温室効果ガス削減も含め、あなたは、日本が地球温暖化（気候変動）問題に、これからどのような考え方で対応していくべきだと思いますか。あなた自身のお考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 地球温暖化（気候変動）は深刻かどうかわからないので、現在やっている以上のことは、何もしなくてもよいと思う
- 2 地球温暖化（気候変動）は深刻かどうかに関わらず、世界の他の国も対策をとることを考えて、早めに対応した方が経済成長への影響が少なくて済むから、早めに対応をすべきだと思う
- 3 地球温暖化（気候変動）は深刻だと思うけれども、対策にかかる投資が非常に大きい金額になるならば、ある程度温暖化による自然災害などの被害が大きくなっても仕方がないと思う
- 4 地球温暖化（気候変動）は深刻だから、対策にかかる投資がどれだけの金額になろうと、温暖化による自然災害などの被害が今以上深刻にならないように、できるかぎり早めに対応をすべきだと思う
- 5 わからない

---

Q 6. [回答票 7] 今の世界の環境問題は、先進工業国、途上国のどちらに、より責任があると思いますか。もしくは、双方に同じくらいの責任があると思いますか。

1	2	3	4
先進工業国に より責任がある	途上国に より責任がある	双方に同じくらいの 責任がある	わからない

---

<日頃どの程度いろいろな情報に接していらっしゃるかについて伺います>

Q 7. [回答票 8] あなたが、インターネットをお使いの際利用している機器は何ですか。ご自宅・職場にかかわらず、この中からいくつでも選んでお答えください。(M. A.)

- 1 パソコン、タブレット端末など
- 2 スマートフォン、PDA (携帯情報端末) など
- 3 携帯電話 (スマートフォンを除く)
- 4 テレビ (録画機やケーブルテレビのチューナーなども含む)
- 5 ゲーム機
- 6 その他 ( )
- 7 インターネットを使っていない
- 8 わからない

Q 8. [回答票 9] あなたは、社会の出来事一般についてどこから情報を得ていますか。主なものを3つまで選んでください。(3M. A.)

- 1 新聞 (印刷されたもののみ。電子版の場合は「10」へ)
- 2 雑誌
- 3 ラジオ
- 4 テレビ
- 5 友人や家族
- 6 国や自治体が配布しているパンフレットなど
- 7 環境団体が配布しているパンフレットなど ( )
- 8 環境団体以外の様々な団体 (NGOやNPOなど) が配布しているパンフレットなど
- 9 ツイッター、フェイスブックやミクシィなどのSNS
- 10 電子版の新聞、ニュースサイト、上記「9」以外のメールマガジンなど
- 11 フリーペーパー、フリーマガジン
- 12 セミナーや講習会など
- 13 その他 ( )
- 14 特に情報を得ていない
- 15 わからない

---

Q 9. [回答票 10] 環境問題や原発、放射線の問題などについて、次の情報源のうちどこからの情報が最も信頼できると思いますか。信頼できると思うものを、次の中から**3つまで**お答えください。(3M. A.)

- 1 国や国の外郭団体
- 2 地方公共団体（都道府県、市町村区）や、その外郭団体
- 3 環境保護団体
- 4 国連などの国際的な機関や外国政府
- 5 企業や企業団体（業界団体）
- 6 政治家
- 7 大学や様々な研究機関の研究者・学者
- 8 消費者団体・市民団体・生協など
- 9 テレビ、新聞、雑誌などに出演して発言するジャーナリスト・評論家
- 10 特に専門家ではない人のインターネットの個人のホームページや、  
個人が書きこむ掲示板(ブログなど)
- 11 大学や様々な研究機関の研究者や専門家が自分で書き込んでいる個人の  
ホームページ、ブログ、ツイッターの情報
- 12 家族・友人・知人
- 13 勤務先・仕事の取引先
- 14 その他（)
- 15 わからない

<ここからはエネルギー問題について伺います>

Q10. [回答票 11] 20年後から30年後の日本を考えた場合、安定した電力の供給を確実に  
行なうものとして、次の(a)から(j)の発電方法・燃料は、それぞれどの程度適していると思  
いますか。それぞれ次の中から1つだけお答えください。

	とても 適している	やや 適している	どちらとも いえない	あまり 適していない	全く 適していない	わから ない
(a) 水力	1	2	3	4	5	6
(b) 石炭	1	2	3	4	5	6
(c) 石油	1	2	3	4	5	6
(d) 天然ガス	1	2	3	4	5	6
(e) 原子力	1	2	3	4	5	6
(f) 太陽・太陽光	1	2	3	4	5	6
(g) 風力	1	2	3	4	5	6
(h) 樹木、穀物、人畜の排泄物などによるバイオマス	1	2	3	4	5	6
(i) 地熱	1	2	3	4	5	6
(j) 海洋（波力や海流を使うもの）	1	2	3	4	5	6

Q11. [回答票 12] 次に原子力発電について伺います。日本国内の電力需要の今後の見通しを考えたときに、国内に今ある原子力発電所の再稼働を進めていくべきだと思いますか、それとも再稼働はすべきではないと思いますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 再稼働を進めていくべきだと思う
  - 2 どちらかといえば再稼働を進めていくべきだと思う
  - 3 どちらともいえない
  - 4 どちらかといえば再稼働すべきではないと思う
  - 5 再稼働すべきではないと思う
  - 6 特に意見はない
  - 7 わからない
- 

Q12. [回答票 13] あなたがこれまでに、日本の原子力発電について知っていることや聞いたことを総合的に判断して、以下の文章のどれがあなたの考えに最も近いでしょうか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 原子力発電がもたらす便益は、そのリスクを大きく上回る
  - 2 原子力発電がもたらす便益は、そのリスクを若干上回る
  - 3 原子力発電がもたらす便益とそのリスクはほぼ同じくらいである
  - 4 原子力発電がもたらすリスクは、その便益を若干上回る
  - 5 原子力発電がもたらすリスクは、その便益を大きく上回る
  - 6 どれでもない
  - 7 わからない
-



Q13. [回答票 14] ここにあげるそれぞれの意見について、あなたはどのように思いますか。(a) から (1) の意見についてお答えください。それぞれ次の中から1つだけお答えください。

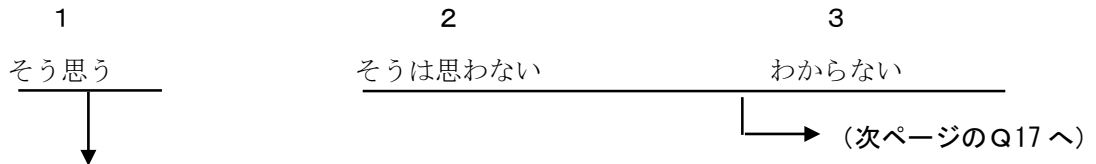
	そう思う	まあそう思う	いえない	どちらとも	そう思わない	あまり	そう思わない	特に意見はない	わからない
(a) もし、地球温暖化・気候変動を防げるのなら、新しい原子力発電所の建設をしても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7		
(b) 信頼できるエネルギー供給に役立つのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7		
(c) 他の全てのエネルギーの選択肢を吟味せず、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う	1	2	3	4	5	6	7		

	そう思う	まあそう思う	いえない	どちらとも	そう思わない	あまり	そう思わない	特に意見はない	わからない
(d) 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う	1	2	3	4	5	6	7		
(e) 地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う	1	2	3	4	5	6	7		
(f) もし、今より安全な原子力発電所が建設できるのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7		

(g)	日本政府は、原子力発電所について、適切な管理や規制をしていると思う	1	2	3	4	5	6	7
(h)	現在の日本の原子力発電に関する法律や規制は原子力発電所を管理するために十分、効力を持つものだと思う	1	2	3	4	5	6	7
(i)	原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う	1	2	3	4	5	6	7
(j)	火力発電所から発生する二酸化炭素が大気に放出される前に集めて地中に埋めてためておく技術を使うことで、二酸化炭素がこれ以上大気中に増えないようにする方が、原子力発電所からの電力を使うよりも良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(k)	我が国は、確実な電力供給を担保するために、原子力発電や再生可能エネルギーを含む多様なエネルギー源が必要だと思う	1	2	3	4	5	6	7
(l)	太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、自然保護や景観保護の観点からみると好ましくないやり方だと思う	1	2	3	4	5	6	7

＜ここからは地球環境問題について伺います＞

Q14. あなたご自身の考えとして、最近、気候が変わってきていると思いますか。それとも、そうは思いませんか。



【Q14で「1 そう思う」と答えた方に】

Q15. 【回答票 15】 気候が変わってきている原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いのは以下のどれでしょうか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 全て自然現象によるものだ
- 2 おおかたは自然現象に原因がある
- 3 一部は自然現象、また一部は人間の活動に原因がある
- 4 おおかたは人間の活動に原因がある
- 5 全て人間の活動に原因がある
- 6 特に意見はない
- 7 わからない

【Q14で「1 そう思う」と答えた方に】

Q16. 【回答票 16】 地球上の気候が変わってきている原因は何だと思いますか。次の中から5つまでお答えください。(5 M. A.)

- 1 大気汚染全般
- 2 発電する量や電気使用量が増大していること
- 3 森林火災などで木が燃えること
- 4 石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料の燃焼による二酸化炭素の発生
- 5 自動車、飛行機などの交通量が増えていること
- 6 森林や熱帯林の伐採
- 7 工場などで発生するガスなどが大気に放出されること
- 8 オゾン層の破壊
- 9 人間の活動全般の水準が上がってきていること
- 10 自然現象

- 11 核・原子力エネルギーを使うこと
- 12 海洋・海洋大循環
- 13 石油、石炭、天然ガスが大気中に放出されること
- 14 太陽からの放射熱
- 15 火山の噴火、火山活動
- 16 その他 ( )
- 17 わからない

【全員の方に】

Q17. [回答票 17] それでは、このまま気候が変化していくことによる影響として深刻なことは何だと思えますか。次の中から**3つまで**お答えください。(3M. A.)

- 1 ヒートアイランド現象が起きやすくなる
  - 2 生物多様性の減少、種の減少
  - 3 今までより極端な気候が起きる (猛暑など)
  - 4 熱帯地方の病気が日本でも発生するようになる
  - 5 海面上昇
  - 6 洪水や水不足、干ばつが今よりも多く発生するようになる
  - 7 オゾン層の破壊
  - 8 農作物の収穫が不安定になるなど農業生産への影響
  - 9 シベリアなどの凍土層の溶解、アルプスやヒマラヤの氷河が溶けだす
  - 10 現在よりも強力な台風や竜巻などが起きやすくなる
  - 11 熱射病など健康への影響が起きやすくなる
  - 12 雨の降り方が熱帯地方の降り方に近くなる
  - 13 季節の変化がなくなる
  - 14 このような変化は一時的なもので、長期的に見た場合、特別に深刻な影響はない
  - 15 その他 ( )
  - 16 わからない
-

Q18. [回答票 18] 地球温暖化・気候変動をはじめとする環境問題や原発、放射線の問題などは、一般的に見て、子供世代や孫世代などの将来世代の生活や健康にどのくらい影響を与えていると思いますか。次の中から1つだけお答えください。

1	2	3	4	5
大きな影響がある	やや影響がある	あまり影響はない	影響はない	わからない
る		い		

Q19. [回答票 19] 次の (a) と (b) の文の内容は、正しいと思いますか。次の中から1つだけお答えください。

	正しい	間違っている	わからない
(a) 放射性物質は放射線を出して別の物質に変わっていくので、自然界に永遠に残るものではない	1	2	3
(b) 普通に生活していても、地域によって若干の差はあるが、世界の平均で年間2.4ミリシーベルトの放射線を自然界から受けている	1	2	3

<ここからは、一般的な社会の状態、考え方について伺います>

Q20. [回答票 20] ここにあげる (a) から (c) の考えについて、あなたはどのように思いますか。それぞれ、次の中から **1つだけ**お答えください。

	そう思う	そう思う どちらかといえば	いえ ない	どちらとも そう思わない	どちらか といえば そう思わない	わ か ら な い
(a) 自分一人では環境問題の解決に大したことはできない	1	2	3	4	5	6
(b) 現代の技術は、環境問題をうまく解決してくれると思う	1	2	3	4	5	6
(c) 人が生きていく上では、人と人とのつながりがお金や肩書きより大事だと思う	1	2	3	4	5	6

Q21. [回答票 21] 国が心がけることについて、もっとも重要だと思うのはどれですか。また、2番目に重要だと思うのはどれですか。それぞれ次の中から **1つだけ**お答えください。

もっとも重要と思うもの (                      )                      2番目に重要と思うもの (                      )

- 1 国の秩序を維持すること
- 2 政府の決定に対して、国民にもっと発言できるようにすること
- 3 物価の上昇をおさえること
- 4 言論の自由を守ること
- 5 わからない

Q22. 世の中のたいていの人は、他人の役に立とうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

- 1 他人の役に立とうとしている
- 2 自分のことだけ考えている
- 3 その他 ( )
- 4 わからない

---

Q23. 「現在から 25 年後でも石油が十分に残っている」という人もいれば、「今のようないつかい方をしていけば、15 年後には石油はなくなってしまう」という人もいます。どちらがあなたの意見に近いですか？

- 1 25 年後でも石油が十分に残っている
- 2 15 年後には石油はなくなってしまう
- 3 わからない

---

Q24. 一般的に言って、世の中には信用できる人が多いと思いますか？ それとも、信用できない人の方が多いと思いますか？

- |           |            |       |
|-----------|------------|-------|
| 1         | 2          | 3     |
| 信用できる人が多い | 信用できない人が多い | わからない |

---

<<フェイスシート>>

では最後に、ご回答を統計的に分析するために、大変に失礼かと思いますが、あなたご自身のことについてお伺いします

F 1. ( 性 )

- 1 男性
- 2 女性

F 2. (年 齢) あなたのお年は満でおいくつですか。

(実年齢を記入し、下の該当する項目に○をする。)

歳

- |   |        |    |        |
|---|--------|----|--------|
| 1 | 20～24歳 | 7  | 50～54歳 |
| 2 | 25～29歳 | 8  | 55～59歳 |
| 3 | 30～34歳 | 9  | 60～64歳 |
| 4 | 35～39歳 | 10 | 65～69歳 |
| 5 | 40～44歳 | 11 | 70歳以上  |
| 6 | 45～49歳 |    |        |

---

F 3. (教 育) [回答票 22] あなたの最終学歴を次の中から1つだけお答えください。

- 1 中 学
- 2 高 校
- 3 短大・大学
- 4 該当するものがない (具体的に )
- 5 わからない

---

F 4. ご自宅は、持ち家ですか。それとも、持ち家ではないですか。

- 1 持ち家
- 2 持ち家ではない
- 3 その他 (具体的に )
- 4 わからない



F 5. [回答票 23] ご家族に、18歳未満の方はいますか。当てはまる方の数だけお答え下さい。(M. A.)

- 1 乳幼児がいる(2歳未満)
- 2 幼児がいる(2歳以上の未就学児)
- 3 小学生がいる
- 4 中学生がいる
- 5 高校生がいる
- 6 通学していない18歳未満の方がいる(既に働いている方など)
- 7 いずれもない
- 8 わからない

F 6. [回答票 24] 次にお仕事について、伺います。あなたのお仕事はどれにあたりますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 会社経営者・役員
  - 2 自営業主(自分以外の従業員はいない、もしくは無給の従事者のみ)
  - 3 常勤の被雇用者(課長・部長以上の管理職)
  - 4 常勤の被雇用者(課長・部長に相当する以上の管理職ではない)
  - 5 無給の家族従業者
  - 6 パート・アルバイト・派遣社員
  - 7 その他(具体的に )
  - 8 専業主婦・主夫(パート・アルバイトや派遣社員ではない)
  - 9 学 生
  - 10 定年退職後、無職
  - 11 その他の無職
  - 12 わからない
- (次ページのF 8へ)

【F6で「1」～「7」と回答された方に】

F7. 【回答票 25】業種はこの中のどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 農林漁業
- 2 建設業
- 3 製造業
- 4 情報通信業
- 5 交通、運輸業
- 6 小売業・卸売業
- 7 金融業
- 8 サービス業（ホテル、レストラン、美容院など）
- 9 専門的・技術的職業（弁護士、公認会計士、医師、教員など）
- 10 政府官公庁、公企業体
- 11 その他（具体的に )
- 12 わからない

【全員の方に】

F8. あなたは、実質上の世帯主ですか。それとも、他の方ですか。

1 はい → (F11へ)

2 いいえ



【F8で「2 いいえ」と回答された方に】

F9. 【回答票 26】世帯主の方の職業はどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 会社経営者・役員
- 2 自営業主（自分以外の従業員はいない、もしくは無給の従事者のみ）
- 3 常勤の被雇用者（課長・部長以上の管理職）
- 4 常勤の被雇用者（課長・部長に相当する以上の管理職ではない）
- 5 パート・アルバイト・派遣社員
- 6 その他（具体的に )
- 7 学 生
- 8 定年退職後、無職 } → (F11へ)
- 9 わからない

---

【F9で「1」～「6」を回答された方に】

F10. 【回答票 27】業種はこの中のどれにあてはまりますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 農林漁業
- 2 建設業
- 3 製造業
- 4 情報通信業
- 5 交通、運輸業
- 6 小売業・卸売業
- 7 金融業
- 8 サービス業（ホテル、レストラン、美容院など）
- 9 専門的・技術的職業（弁護士、公認会計士、医師、教員など）
- 10 政府官公庁、公企業体
- 11 その他（具体的に ）
- 12 わからない

---

【全員の方に】

F11. 【回答票 28】あなたは、結婚をしていますか。次の中から1つだけお答えください。

- | 1                             | 2   | 3   | 4   | 5     |
|-------------------------------|-----|-----|-----|-------|
| 既婚もしくは同居する<br>異性のパートナーがい<br>る | 死 別 | 離 別 | 未 婚 | わからない |

F 12. 【回答票 29】 大型の家電、大型の家具などの購入について、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 いつも自分
  - 2 だいたい自分
  - 3 だいたい家族の他の誰か
  - 4 いつも家族の他の誰か
  - 5 家族以外の人
  - 6 該当しない
  - 7 わからない
- (F13へ)

【F12で「1 いつも自分」～「4 いつも家族の他の誰か」と回答された方に】

F 12-1. 【回答票 30】 東日本大震災後、家電製品などを購入する際に、省エネ性能を考慮しますか。次の中から1つだけお答えください。

- | 1             | 2            | 3           | 4           | 5     |
|---------------|--------------|-------------|-------------|-------|
| いつも<br>そうしている | そうする時が<br>多い | たまに<br>している | 全く<br>していない | わからない |

【全員の方に】

F 13. 【回答票 31】 食料や日用品の買い物について、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 いつも自分
  - 2 だいたい自分
  - 3 だいたい家族の他の誰か
  - 4 いつも家族の他の誰か
  - 5 家族以外の人
  - 6 該当しない
  - 7 わからない
- (F14へ)

【F13で「1 いつも自分」～「4 いつも家族の他の誰か」と回答された方に】

F13-1. 【回答票 32】 東日本大震災後、食料を購入する際に、産地を確認しますか。次の中から1つだけお答えください。

1	2	3	4	5
いつも そうしている	そうする時が 多い	たまに している	全く していない	わからない

(次ページのF13-2に進んでください)

【F13で「1 いつも自分」～「4 いつも家族の他の誰か」と回答された方に】

F13-2. 【回答票 32】 東日本大震災後、農産物や水産物を購入する際に、放射能汚染がありそのような産地を避けますか。次の中から1つだけお答えください。

1	2	3	4	5
いつも そうしている	そうする時が 多い	たまに している	全く していない	わからない

---

【全員の方に】

F14. 【回答票 33】 食事の準備もしくは片付けについて、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から1つだけお答えください。

- 1 いつも自分
  - 2 だいたい自分
  - 3 だいたい家族の他の誰か
  - 4 いつも家族の他の誰か
  - 5 家族以外の人
  - 6 該当しない
  - 7 わからない
-

F 15. 【回答票 33】 ゴミ出しについて、お宅ではどなたが主に担っていますか。次の中から 1 つだけお答えください。

- 1 いつも自分
- 2 だいたい自分
- 3 だいたい家族の他の誰か
- 4 いつも家族の他の誰か
- 5 家族以外の人
- 6 該当しない
- 7 わからない

---

F 16. 【回答票 34】 あなたは掃除・洗濯・炊事などの家事を自分でできますか。次の中から 1 つだけお答えください。

- | 1            | 2              | 3             | 4               | 5              | 6     |
|--------------|----------------|---------------|-----------------|----------------|-------|
| 全て<br>自分でできる | ほとんど<br>自分でできる | どちらとも<br>言えない | あまり自分では<br>できない | 全く自分では<br>できない | わからない |

F 17. 【回答票 35】 直近 1 年間の、お宅（ご家族の収入の合計）の収入は、税込みで大体いくらでしたか。臨時収入、副収入、ご家族全員の収入の合計に近いものを、次の中から 1 つだけお答えください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 200万円未満     | 8 800～900万円未満    |
| 2 200～300万円未満 | 9 900～1000万円未満   |
| 3 300～400万円未満 | 10 1000～1200万円未満 |
| 4 400～500万円未満 | 11 1200～1500万円未満 |
| 5 500～600万円未満 | 12 2000万円以上      |
| 6 600～700万円未満 | 13 答えたくない        |
| 7 700～800万円未満 | 14 わからない         |

---

質問は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。